THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF LIONS CLUBS DISTRICT 331-A 2015-2016

ECHO

Nov.2015
ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区
NO.522
http://www.lc331-a.jp



山田国際会長の公式訪問で安部地区ガバナーと山田国際会長がガッチリ握手

ガバナースローガン

ウィ・サーブ・日々・是・獅子道

第2回 キャビネット会議
山田国際会長公式訪問

特集

100周年記念チャリティゴルフ大会
若手・女性メンバーセミナー
リジョン特集〈2R・6R〉

連載企画「明日のライオン像を語る」③



ときめきを、すべてのフロアに。

寛ぎを楽しみ、至福を味わう、京王プラザホテル札幌。
さまざまな感動を演出する19のバンケット、北海道の新鮮な食材や、
旬の味覚を楽しめる多彩なレストラン、最上のリラクゼーションを
提供する客室、日ごろの疲れを癒し、心とカラダのコンディションづくりの
お手伝いをさせていただくスポーツ＆フィットネス「ペント・セプト」など
すみずみまで輝いています。





1F ブッフェ&パーティコート「グラスシーズンス」



22F ラグジュアリーコーナースイート



B1 スポーツ&フィットネス「ペント・セプト」



地下1階プラザホールがリニューアル。

スポットライトに照らされながら、大階段を優雅に入場する新郎新婦。
クラシカルな荘厳さとスイートなディテールが融合する空間。美しくきらめく
クリスタルのシャンデリア。まるで宮殿のように華やかな大ホールに
一歩足を踏み入れた瞬間から、永遠へとつづく物語が始まります。

KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO

札幌市中央区北5条西7丁目2番地1　TEL 011-271-0111(代表)
http://www.keioplaza-sapporo.co.jp

第2回　キャビネット会議

地区PR・ライオンズ情報委員長　L森　一男

新入会員に「入会を讃えて」の感謝状

初めてで新メンバーは、緊張の中にも感動



第2回キャビネット会議が10月20日、京王プラザホテル札幌でキャビネット役員70人が出席して開かれた。今回は、初めて新入会員に、「入会を讃えて」の感謝状を贈り、新メンバーは喜びを噛みしめていた。

キャビネット会議は、L河原博之事務局長の司会で始まり、L安部尚明地区ガバナーが「100周年記念チャリティーゴルフ大会に各役員から物心両面でご協力を頂きありがとうございました。担当して頂いたL荒井喜和委員長には本当にお世話になりました。7，8月に入会された会員に、本日初めて出席して頂いております。キャビネット会議の雰囲気を味わって貰い、社会奉仕に精進してください」と、挨拶した。

ロの字型の座席の中ほどに新人の席。7、8月に入会した65人が対象で、この内仕事の関係もあって19人が出席した。一人、一人名前が読み上げられ、中央に進んで、安部地区ガバナーから、「ガバナースローガン〈ウィ・サーブ・日々・是・獅子道〉を理解して頂き、ライオニズムの向上に努めて下さい」と書いた「入会を讃えて」を受け取り、L安江眞GMT地区コーディネーターからガバナーピンを胸に付けて貰った。緊張した面持ちの中にも、喜びを噛みしめていた。

L杉本忠夫元国際理事は「新入会員の皆様、おめでとうございます。永遠に奉仕を続けて欲しい。34年ぶりに日本から誕生した山田實紘国際会長は、会員の倍増を打ち出しており、厳しい1年になると思います。力を発揮して、思い出に残る1年にして欲しい」と、挨拶した。

L杉本から、L三澤聖一前地区ガバナーに国際会長からのアワードが伝達された。

審議事項の第62回年次大会の要綱と事務局員の給与の引き上げも承認された。報告事項に移り、2016年度～17年度の第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーの選出及び手続についてなどの説明もあった。

この後、各地区コーディネーター、各委員長から活動報告があり、懇親会が開かれた。

新入会員への感謝状は、国際協会が感動的な入会セレモニーをするように呼び掛けており、その一環。今回、欠席したメンバーには送る。9月から11月までの入会者には、安部地区ガバナーが、クラブを訪問して贈呈する予定。それ以降は第3回、第4回キャビネット会議で渡す予定。



3役・GMTと新人会員

34年ぶりに日本人国際会長が誕生

地区PR・ライオンズ情報委員長 L森 一男

「サビ付いた組織をピカピカにしよう」



「一世紀近い歴史の中で、組織はサビ付いた。スリム化してピカピカにしないと、次の100年はない」－山田實紘国際会長の方針演説は、明快で感動的だった。日本で34年ぶりに誕生した国際会長の公式訪問・歓迎午餐会が、9月10日旭川グランドホテルで開かれた。

東日本から約420人、うち331－A地区からは65人が出席した。山田会長は、軍艦マーチに乗って、勇ましく入場した。大きな拍手が送られる。来賓・役員紹介は、我が地区ガバナーのL安部尚明。はっきりした口調で力強く、よどみがない。新国際理事のL安井克之が国際会長を紹介、いよいよ医師でもある山田会長の登壇となった。

「ブラジルの公式訪問でも軍艦マーチでした。あのメロディーは、日本の良さを伝えています。軽い感覚です。インドでは、3千人が日の丸で迎えてくれました。私は、日本代表として愛国心を持ってやっています。それが、世界から尊敬される事につながります」

山田国際会長は出席した地区ガバナー17人に起立するように求める。「命を掛けてやっていけるかー。宣誓しなさい」。各ガバナーは「I Will（約束する）」と大きな声を張り上げた。





「温故知新です。過去をしっかりと見つめ、未来を創造する必要があります。国際協会は、2年後に100年を迎えますが、サビ付いてしまった。肥満化した組織をスリム化して次の100年につなげないと行けない。ガバナーになるのに千万円も2千万円もかかる。これはおかしい。年会費が20万円もかかる。若い



人が、高くて入会出来ません。アメリカは年間1万円です。屋外でピクニック感覚で例会を開いています。事務所もないしスタッフを雇っていない。事務員は奥さんや家族です。あくまでも奉仕活動が中心です。侍スピリット、大和撫子の精神が、今こそ必要です」

「男社会でなく、女性のエネルギーを活用する事です。男なら相手が怖がるが、ソフトな女性にライオンズクラブは向いています。30代の若手ライオンも育てないと、日本のライオンズクラブはつぶれます」

示唆に富んだ熱烈な方針演説だった。

各複合地区からの記念品贈呈も断り、LCIFに回す事になった。公式訪問の後、歓迎午餐会が和やかなムードの中で開かれ、各準地区との記念撮影も行われた。山田会長と安部地区ガバナーが、ガッチリ握手をした。

山田国際会長は、閉会後会場を一巡。出席者と握手した。一人、一人、目と目を合わせ、にこやかな笑顔。国際会長としての気取りは微塵もなく、親近感を覚える公式訪問となった。

331-B地区初の安井国際理事の就任祝賀会



ライオンズクラブ国際協会331-B地区から初めて誕生した安井克之国際理事（旭川東LC）の就任祝賀会が、9月9日旭川グランドホテルで開かれた。東日本各地区から約300人、331-A地区からは、安部尚明地区ガバナー、柏崎昭朗第一副地区ガバナー、能澤正明第二副地区ガバナー、元地区ガバナーら多数が出席した。

杉本忠夫元国際理事が、発起人を代表して挨拶をし、西川将人旭川市長、山田實紘国際会長らが祝辞を述べた。

安井新国際理事は「ライオンズクラブ国際協会の具体的奉仕活動には、青少年の健全育成、障害者支援、飢餓対策、環境保全といった数多くの取り組みや課題があり、それらのアクティビティにも積極的に関与してまいります。今までの経験を生かし、日本ライオンズの名誉と誇りに掛けて、ご支援くださいました皆様のご期待に応えるべく、国際理事としての務めを精一杯果たさせて頂く所存でございます」と、謝辞を述べた。

この後、鏡開き、祝電披露があり、祝宴が開かれた。翌10日には、山田国際会長の公式訪問・歓迎午餐会が開かれ、旭川は二日連続して、祝賀ムードに包まれた。



「明日のライオン像を語る」③

司会　森　一男　地区ＰＲ・ライオンズ情報委員長

「明日のライオン像を語る」三回目は、大御所2人に登場して頂きました。ライオンズクラブ国際協会の元国際理事　L杉本忠夫と331複合元議長で元地区ガバナーのL春野守夫です。地区ガバナー時代の思い出や、奉仕活動のあり方、若手・女性メンバーへの期待などを、3時間に亘って熱く語って頂きました（文中敬称略）。

L杉本　忠夫　元国際理事（79歳）（札幌ライラックLC所属）

L春野　守夫　元複合議長（87歳）（札幌もいわLC所属）



司会「春野ライオン、園遊会に招待され、おめでとうございます」

春野「10月15日に宮内庁から、11月12日の東京・赤坂御苑で開かれる園遊会のご招待状が届きました。菊のご紋入りで、ありがたく、嬉しく受け取りました」

失業者にパンとスープ

司会「お2人とも、地区ガバナーをやられましたが、思い出が沢山あると思います」

杉本「女性だけの札幌コスミックシニアLCを結成した事ですね。3年前から準備を始め、2003年サッポロシニアLCが結成5周年の時、スポンサーをして頂き誕生しました。シニアだけの女性LCは、日本で初めてです。シニアさんも苦労したと思います」

春野「私が、ガバナーになった1991年は、アメリカのブリスベンで国際大会が開かれました。途中、サンフランシスコに立ち寄ったのですが、広場に長い行列が出来ていました。ライオンズクラブのメンバー2，30人が、日曜日で失業者にパンとスープを渡していたのです。温かな光景に、私は胸を打たれました。



私が、ガバナーの時、331－A地区のメンバーが4000人を初めて超えました。江別グリーンLCの結成で27人が入会、約4020人になりました。この快挙をキャビネット全員でお祝いしました」

Tomorrow's The Lion



杉本「ガバナーの時、3クラブを結成しました。そのうちの一つ、そらちLCの　10周年に招待され、感謝状を貰い涙が出ました」

司会「L春野には、忘れられない思いがあるそうですね」

春野「92年の年次大会で、目が不自由なのに、英語塾を開き、青少年に心と心のつながり　魂の教育をされたとして、島貫利明・非ライオンに、赤平LCからの推薦もあり、A地区では初の社会貢献賞を贈りました。島貫さんの〈光をなくしたあなたに〉の独唱と、札幌もいわMMCコーラスのバックコーラスのあの響きは、今も心に残っています」

杉本「私は、08年から国際理事を2年間やりましたが、委員会は、4，5日缶詰めで真剣です。ウトウトして、寝ていたら、国際会長から、帰りなさいと叱責された事もあるそうです。アメリカの例会は、会館でジャンバーに長靴姿。食事は、カレーライスで1ドルか2ドルの会費。ゴミ袋のような物に缶ビールをI人分2缶ずつ入れて担当者が持って来る。簡素な例会です。議論は伯仲してやる。日本は、カッコつけ過ぎです」

希望ある限り若い

司会「L春野は、広い視野と奉仕活動のあり方に深い見識を持たれています。L春野を揺り動かした名セリフが、あるそうですね」

春野「第74回国際大会で、ビックス会長が〈地域社会とは、地球全体をいう〉との名セリフが、脳裏から離れません。奉仕活動は、明るく住みやすい街にするためと、考えていました。国際協会が、LCIFの拠金で視力障害者を救う。まさに地球規模です。感動した話しですが、国際協力事業団の職員が、発展途上国に行きました。2本のボールペンを持っていたのですが、途上国の人は〈私にはないから、あなたから貰う権利がある。地球上に生を受けている者は、すべて平等で、自分にない物を貰うのは当たり前だ〉。ライオンズ思想につながります。障害者のために、パラリンピックを開くのも、健常者と分け隔てしない平等の精神の現われです」

杉本「私は、先輩・年齢に敬意を表します。人間、物理的に超えられないのは年齢です。これからの人も、大事にしていますよ。焼き鳥やで共に酒を飲み交わします」



司会「L杉本は、国際理事までやっているのに、偉ぶっている姿は見た事がありません。青春と言う言葉が、好きですね」

杉本「サミュエル・ウルマンの詩です。ご存知の方も多いと思いますが、年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

人は信念と共に若く
疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く
恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く
失望と共に老い朽ちる

まだまだ、長い詩ですが、私の大事なすよ。焼き鳥やで共

Tomorrow's The Lion

言葉です。皆様もこのような気持ちで生きて欲しいと思います」

「いただきます」の教え

春野「法事に出た時の説教に心が、洗われました。今日は、目の前にご馳走があり、皆さん手を合わせて、いただきますと唱えて食べます。いただきますは、目の前の動物、植物はすべて生命を持っており、その命をいただくと言う意味です。そのお蔭で人間は成長し、生きている事に感謝し、お礼を社会に還元しなければならないと、気付くのです。この事が、奉仕の原点かと思います」

杉本「我がクラブは、今、ジュニア・ジャズスクールに力を入れています。才能の豊かな若者も多く、一流のミュージシャンとして



宮内庁から来た園遊会の招待状

成長してくれれば嬉しいですね」

司会「L春野は、日曜画家として、今もキャンバスに向かっていますね」

春野「8月に大丸藤井セントラルで、米寿元気 油彩展を開きました。大々的な個展は初めてで、35点を展示しました。画集〈老樹元気〉も出しました。中島公園の護国神社側にある老樹が、道路が整備されていない時代に車にぶつけられ、コブが出来てしまった。コブが、樹の成長と共に高くなっている。絵は、ゴルフ場などに寄贈していますが、絵筆を走らせていると、人生の空間を埋めてくれます」

国際会長は改革を大々的に

司会「日本から34年ぶりに、山田国際会長が誕生しましたが、期待は大きいと思います」

杉本「難民を救うために、全国的にドネーションを大々的に集めるそうです。国際協会が、改革を大いにやるべきです」

司会「山田国際会長は、女性会員を増やす事に情熱を燃やしています。331-A地区では、初の家族・女性チーム（FWT）の地区コーディネーターが誕生しました」

春野「私が、ガバナーの時に女性会員の役割と題して、当時は珍しかった女性会員に集まって頂き、座談会を開き、その事が全国版のライオン誌にも掲載されました。女性には、柔らかさ、優しさと言った感性があります。老人ホームや精神障害者の施設などを慰問したらどうかとの話しもありました」

杉本「北海道には、札幌のほか、旭川、帯広に女性だけのクラブがあります。3クラブが集まって、女性会員をどうやって増やすか、どんなアクテビティーをするかなど、話し合いの場を設けると良いです。若手育成のために、ライラックLCには、朔日会がありました。毎月1日に新人を集めて、元会長らが、ライオンズクラブのイロハを3年間教える。コミュニケーションも深まり、仲良くなりました」

春野「私の経験からして、この人道主義、即ちライオニズムの素晴らしい足跡を次世代に引き継ぐ責任があると思います。その事が、人間として進むべき道かと思い、大いに精進、努力すべきです」

司会「今日は、お忙しいところ、示唆に富んだ話しを聴かせて頂き、ありがとうございました」

L杉本忠夫 略歴

1981年 札幌ライラックLC入会
1993年 札幌ライラックLC 会長
2001年 リジョン・チェアマン
2003年 地区ガバナー
331複合地区議長
2008年 国際理事
LCIF副理事長
リーダーシップ副委員長

L春野守夫 略歴

1968年 札幌もいわLC入会
1976年 札幌もいわLC会長
1982年 ゾーンチェアマン
1986年 キャビネット会計
1991年 地区ガバナー
331複合地区議長
1992年 ライオン誌日本語版委員

15名がゴールド認定講師

地区薬物乱用防止委員長
L高橋 久美子



薬物乱用防止委員会として、一番大きな行事の講師養成講座を10月5日無事終える事が出来ました。

受講申し込み者、ゴールド認定講師15名を含み122名(当日欠席者9名)。

当日は、まず「薬物乱用はダメ・ゼッタイ～脳を科学する」と、ライオンメンバーであり、医学博士L万本盛三の「薬物乱用と体への影響」2本のDVDを見ていただきました。

講師として、北海道警察本部石川英明氏には「薬物犯罪等の現状」、北海道教育庁堂本律子氏には「薬物乱用防止教育の現状」、又、北海道保健福祉部鎌田淳氏には「北海道における薬物乱用防止対策」と、それぞれの専門分野のお話をしていただきました。

その後、実践講座として、滝川ライオンズクラブ青少年育成委員長L田家弘明から現状を、札幌リバティライオンズクラブL深川明俊始めメンバーによる、学校での実践の様子を報告していただきました。

最後は、麻薬覚せい剤乱用防止センターの専務理事であります阿部俊三氏より講評を頂き、受講者に認定証を授与し終了致しました。

委員長を拝命してから、今回の講座に向けて感じたことを報告いたします。

今まで薬物乱用防止関係のアクトをやっていないが、初めて学校訪問をし、講師養成講座に参加したクラブ。講師はいるが、まだ開講していないクラブからは、我がクラブが開講する際に学校に見学に来てみたいとの話があり、少しではありますが浸透してきている事を嬉しく思います。

開講するにあたり、昨年度、今年度も受講者がいないクラブの会長あて直接再検討依頼の連絡をさせて頂き、結果1名の申込みを頂きました。

残念なのは、認定講師はいるが、開講出来ていないクラブです。是非、学校訪問をしていただきたいと思います。





委員長になり、質問を頂く中で、ライオンズクエストと勘違いしていると、思われるのが、「訪問する学校が、決められているのでやりづらい」と言われる事です。薬物乱用防止教室は、訪問学校の指定はありません。自由に訪問してください。

長時間の講習を受け、せっかく頂いた認定証をペーパードライバーのままにしないで、多いに活用してください。

青少年の未来の為に、一度であきらめないで、繰り返し訪問して下さい。



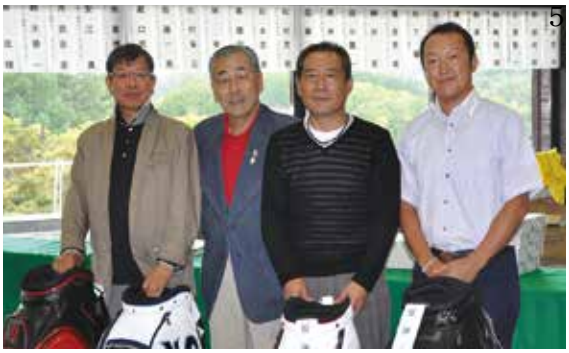
「100周年記念事業 チャリティゴルフ大会」を終えて

百周年記念地区特別事業委員長
L荒井　喜和

大盛り上がりのゴルフコンペ

2年後のライオンズ国際協会創設100周年に向けて「百周年記念奉仕チャレンジ」の取組みとして今年度のL安部ガバナーの下、百周年記念地区特別事業委員会が発足され、委員長を拝命いたしました。

この事業は、「青少年の参加を促そう」「視力を分かち合おう」「食糧支援をしよう」「環境を保護しよう」の四つの奉仕分野で各クラブがACTを行い、世界でそれぞれ2500万人合計1億人へ奉仕しようという挑戦です。





2014年7月から2018年6月までの4年度にわたって続けられる事業であり、今年度は331-A地区全73クラブ参加型の食糧支援の為の親睦チャリティゴルフ大会を去る9月28日〈月〉札幌芙蓉カントリー倶楽部にて開催いたしました。

当日スタート時点は、雨模様でしたが、盛会の内無事、終えることができました。至らぬところも多々ありましたが、これもひとえに41クラ



ナイスショットに珍プレー



区

ブ173名のメンバーの皆様、金銭ACTでの10クラブ参加のメンバーの皆様、合計51クラブの協力を頂き、当日お手伝いに来て頂いたメンバーの皆様やキャビネット役員の皆様には賞品のご提供もあり、チャリティ資金958，860円の資金実績となりました。331-A地区51各クラブの実績ポイントを100周年コーディネーターL柏﨑と協議の上各クラブに実績報告の上、LCIFを通してACT実績とさせて頂くことになりました。

最後に「100周年記念事業チャリティゴルフ大会」に携わって頂いた皆様に心より感謝申し上げます。今後もこのような事業を通じて一つ一つ出来ることを実践しながら、331-A地区73クラブの皆様と共に地域社会に貢献したACTを行いたいと思います。





明日のライオンズクラブを担う

GLT地区コーディネーター　L月居 吉彦

若手・女性メンバーセミナー、初開催

2015年10月26日、15時30分から札幌グランドホテルにおいて、「若手・女性メンバーセミナー」を開催しました。このセミナーは、昨年度までの毎年度、原則クラブ在籍10年以上のメンバーを対象に実施していた「リーダーシップセミナー」に替わるもので、当年度は地区の各クラブに所属する原則60歳以下の若手の正会員と女性の正会員を対象にしたセミナーで、331-A地区では初の試みとなるものです。



挨拶する安部地区ガバナー

若手と女性会員を対象にしたセミナーを開催した理由は以下の通りです。すなわち、地区内のライオンズクラブも社会の大きな潮流である「少子高齢化」の影響を受け、会員の高齢化が進行し、新入会員数も減少傾向にある一方で、50歳以下の純然たる若手の会員と女性会員が地区内の正会員数（約2300人）の約4分の1を占めている状況にあり、当面の大きな課題となっている「クラブの活性化」を図っていくためにも、若手会員と女性会員の活躍がキーポイントになり、かつ、若手会員と女性会員の一層のリーダーシップ向上が必要視されているからです。


講演する月居コー ディネーター

もちろん、若手会員と女性会員の一層のリーダーシップの向上という課題は、331-A地区内の課題にとどまらず、8複合全日本レベルの課題でもあり、6月には東京において「全日本ライオンズ若手フォーラム」が開催され、全国35地区から55歳未満の会員と問題意識を共有したい会員約370人が参加し、7～8人ずつのグループに分かれ、第1セッション「100周年事業に向けて」、第2セッション「次世代リーダーの育成」という2つのテーマの下、2回にわたるグループ・ディスカッションが6時間にわたって熱心に行われました（331-A地区からは札幌スノートピアLC所属のGLT地区コーディネーターL月居吉彦が参加）。また、10月21日には名古屋において、家族会員・女性会員の増強とリーダー


講演する竹村コーディ ネーター



シップの育成、奉仕活動への参加促進を目的とする「FWT全日本女性シンポジウム」が開催され、全国から約350人が参加し、女性会員増強の重要性を確認し、日本のライオンズクラブメンバーが取り組むべき新たな奉仕活動「日本の子どもの貧困を改善するため」の諸活動の現状や課題について学ぶシンポジウムが行われました(331-A地区からは千歳LC所属のFWT地区コーディネーターL竹村聖子と札幌わかばLC所属のFWT地区副コーディネーターL渡部映里子が参加)。このたび、当地区で初開催した「若手・女性メンバーセミナー」も、全日本レベルのこうした動向を受けてL安部尚明地区ガバナーが決断したものです。

当日のセミナーには地区内34クラブから60歳以下の若手会員40人と女性会員20人が参加し、キャビネット事務局長L河原博之が司会を務め、キャビネット幹事L佐藤昌洋の開会挨拶に続いてL安部尚明地区ガバナーがセミナー開催の趣旨等を含めた挨拶を行った後、セミナー第1講としてGLT地区コーディネーターL月居がライオンズ用語の基礎的な解説やライオンズクラブ国際協会の簡単な歴史を紹介しながら、若手会員や女性会員は紛れもなく次世代のライオンズクラブの担い手であり、かつ、懸案の会員増強の最も有力な担い手であることを強調、新会員の加入を促進するためには、まず、自らがライオンズクラブに関する知識理解を深め、ライオンズクラブ活動に対する誇りと愛着心を高め、強い説得力を持つことが肝要だと思うという持論を披露し、若手会員や女性会員の一層の奮起を訴えました。


講演する安江地区 コーディネーター

コーヒーブレークの後、セミナー第2講担当のGMT地区コーディネーターL安江眞が登壇し、地区内の会員増強の現況を報告、女性会員や家族会員の加入率も全国的にみて低い実情を説明し、若手会員や女性会員が率先してL安部尚明地区ガバナーが推奨している「賛助会員(サポーター会員)」および全日本レベルの課題となっている女性会員や家族会員の加入を促進していくことが必要であることを訴えました。

その後、セミナー第3講担当のFWT地区コーディネーターL竹村が登壇し、自らが参加してきた「FWT全日本女性シンポジウム」の状況をDVD映像を交えながら報告し、また、この「シンポジウム」で取り上げられた「日本の子どもの貧困を改善するためにライオンズメンバーが出来ること」についての進捗状況を説明し、331-A地区においても若手会員や女性会員と共にこの新たな奉仕活動に取り組んでいきましょうと訴え、閉講した後、懇親会場に移り、キャビネット会計L松下馨が懇親会の開会を宣言し、第2副地区ガバナーL能澤正明がセミナー参加者を慰労する言葉を述べ、「ウィ・サーブ」の発声で杯を挙げ、会食しながらの歓談で参加者の懇親を深め、すべての日程を終了しました。


女性参加者

北海道地域防災マスター認定研修会

地区アラート委員会

L今村尚司

防災マスターとしてのスキルを習得



「世界ライオンズデー」の10月8日、京王プラザ札幌において、L安部尚明ガバナーをはじめ、地区キャビネット役員12名、クラブ登録者69名の参加のもと、アラートフォーラムを開催いたしました。

本年度のフォーラムは、北海道総務部危機対策局の全面協力のもと「北海道地域防災マスター認定研修会」と同等の構成による研修会を実施しました。

研修は、防災リーダーの基礎知識・心得、気象・津波・地震のメカニズム、災害のイメージ訓練、応急救護等、質量ともにボリュームのある内容で、受講者には丸一日、地域の防災リーダーとしての知識・技術の習得に努めていただいたわけですが、北海道危機対策局の担当者からは「これほど熱心に受講する研修会はめずらしい。ライオンズクラブの危機管理に対する熱意が伝わる」という講評をいただいたほどでした。

研修修了者は、近々、北海道から「地域防災マスター」に認定される見込みです。「地域防災マスター」とは、地域の防災活動に取り組み、災害発生時には地域の防災リーダーとして活躍する者を称しますが、同時に、ライオンズクラブの防災リーダーであるという認識に立って、これからのアラート事業に取り組んでいただきたいと思います。



防災活動や被災時の被災者支援活動は、関係官庁・団体との連携が不可欠です。今後は、北海道から認定された「地域防災マスター」が中心となって、地域の関係官庁・団体と協議を行い、地区アラートプログラムの策定に取り組むとともに、地域の防災活動に積極的に参画する等、ライオンズクラブのアラート事業が推進されることを期待しております。



障がい者が働く環境を整える

地区社会福祉・視聴覚障害委員長
L山森 鉄夫

様々な意見を今後の活動に



本年度、安部地区ガバナーのガバナースローガン『ウィ・サーブ・日々・是・獅子道』の下、私どもの委員会に与えられた役割は地域社会における福祉事業に関する情報・事業と、社会的弱者への支援と経済的自立に向け雇用促進の文化を醸成し定着させることです。

その意志を受け、今回行ったアクティビティが『障がい者雇用促進のための講演会』でありました。

前年度まで地区障がい者雇用促進委員会で行われていたアクティビティが大きな功績を残されていたので、それを引継ぐ形で進めましたが、実際に講師依頼などで出会う方々から、昨年までの講演会でライオンズと関わったお話を伺い大変心強く感じました。

10月13日に開催した講演会ではあいにくの天気の中66名の聴講者が参加され、講師『一般社団法人マルチカルチャーABA 理事長 田中桜子博士』からは、専門分野である行動分析学の立場から障がいのとらえ方、障がいの状態に応じた課題の分析と訓練、障がい者が働く環境を整えることの重要性などについて講話を頂きました。聴講された方々からは『内容が専門的に偏っていたのでは』などのお声も頂き反省すべき点も多くありましたので、今後の活動に生かして行けたらと考えております。



また『独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構様』からは、障害者を雇用する事業所に対する様々な公的支援制度や、障がい者の方たちが職業習熟の成果を披露するアビリンピックのご紹介をいただきました。

最後になりましたが、お運びいただいた方々と準備にご協力頂いたキャビネット事務局やライオンズ会員の皆様に心よりお礼申し上げます。



社会復帰者と治療担当者との対談

地区献眼・献血委員会 委員長
L橋詰晴美

献血活動の重要性を再確認



献血セミナーで挨拶する安部地区ガバナー

日時:2015年9月7日(月)
会場:札幌グランドホテルにて

赤十字血液センター様の御協力により「献血推進セミナー」を開催しました。各クラブより沢山のライオンに出席頂き有難うございました。

今年度は例年と異なり実際に輸血を受けられ元気な体を取り戻されて社会復帰された方2名と病院の治療担当者との対談の形でお話を聞く事が出来、大きな感動をライオン各位受けられ、献血活動の重要性を再確認された事と思います。

私は委員長として献血活動は大変大きなライオンズクラブのアクティビティである事からも一層の活発な活動が必要であると考えます。

事故、病気(特に癌)治療には輸血が必要とされ、長期保存も出来ず現実不足しつつ有り深刻な問題点の一つであるのではと思わずには居られません。年々輸血を必要とされる人が増える一方で、献血は激減している様です。



質問する橋詰委員長

その為にも各クラブ会長には、活動方針はすでに決定済と思いますが、強力推進を宜しくお願致します。



献血推進セミナー

331-A 6R1Z

2015-16
会長スローガン 輪から和へ

EBETSU
LIONS INTERNATIONAL CLUB
LIBERTY・INTELLIGENCE OUR・NATIONS・SAFETY

会　長　L 岩田　美佐男

幹　事	L 相模　昭子	第一副会長	L 野呂　英行	第二副会長	L 町村　均
会　計	L 野呂　英行	ライオンテーマ	L 林　大輔	テールツイスター	L 瀬川 竜二郎
PR委員長	L 大表　睦子	副ライオンテーマ	L 角江　信彦	副テールツイスター	L 伊藤　孜

www.e-clubhouse.org/sites/ebetsujp　e-maill:ebetsu-lions@gol.com

事務局 〒067-0016
江別市６条７丁目14-10　TEL 011-383-3000　FAX 011-378-6390

〈江別ライオンズクラブ広告〉

大丈夫…？ 屋根は意外に傷んでいます。
(有)上坂板金
見積無料 まずはご相談下さい。
TEL(0123)34-0369
恵庭市和光町５丁目25-7　FAX 34-0379

〈恵庭ライオンズクラブ広告〉

灯油・プロパンガス
北海中部物産(株)
黒田売炭
代表取締役 黒田雅史
恵庭市相生町110
TEL.0123-32-2201
FAX.0123-32-2203

〈恵庭ライオンズクラブ広告〉

～ 一歩、一穂、北の大地から ～
横山製粉株式会社
小麦粉・そば粉・プレミックス粉の製造販売
Rera Pirka レラピリカ
「ReraPirka」とは、北海道産原料を使用した自社ブランドです。
本社・工場：〒003-0028 札幌市白石区平和通5丁目南2番1号　011-864-2222
営業所：　東京、名古屋
http://www.y-fm.co.jp

DENTAL LABORATORY
有限会社 オーデント
代表取締役 大江健一
〒061-1412 恵庭市白樺町１丁目 11-5
TEL(0123)33-8644　FAX(0123)33-8645

〈恵庭ライオンズクラブ広告〉

2R1Z

札幌エルムライオンズクラブ

『夏休み少年少女山遊び大会』の開催

PR委員長　L室井　孝仁



8月2日は小学校夏休みの最初の日曜日、爽やかな晴天のもと、西区の五天山公園において、札幌エルム・ライオンズクラブの継続アクティビティである、『夏休み少年少女山遊び大会』を開催しました。

青少年育成委員長：L白瀧敏大の企画による、「様々な感覚を使って自然を体験しよう！」をテーマとして、小学校高学年の子供達に札幌の自然に親しむ機会を提供する事が目的です。

昨年に続き、NPO法人「あそべんちゃースクール」のご協力を頂き、4名のベテラン・ネイチャー・ガイドから「自然の中の身近な不思議を、実際に歩き回って確認」する事の楽しさを、指導して頂きました。参加者全員が4つのグループになり、タオルの色が仲間の目印、自己紹介にもクイズが盛り込まれ、準備運動の中にも『コウモリとガ』という鬼ごっこをしたり、オトナも子供達も一気に打ち解け合う工夫で進行します。

池を巡って散策路を登りながら、「カモフラージュ」、「ネイチャー・ビンゴ」という、「ごくありふれたモノや生き物なのに、ちゃんと見ないと見落としてしまうもの」を探したり、「知ってはいるけど実物は見たこと無いもの」を再発見したりなど、「ネーチャー・ゲーム」を通して、小学生はもちろん、むしろオトナにも有益な、楽しい発見がいっぱいでした。

五天山公園を歩きまわって、お腹がすいた一行は、「ばんけい苑」に移動して、ジンギスカン食べ放題の昼食を楽しみました。

にぎやかな食事の後は、実行委員から、子供達に「水鉄砲」などのプレゼントもあり、水遊びの歓声が飛び交い、最後まで子供達の笑顔や笑い声が絶えませんでした。

子供達も「楽しかった、また来たい！」との声も弾んで、有意義な一日を実感した次第です。

伊藤和廣会長の閉会挨拶にも、「全員怪我もなく無事アクティビティを終了する事ができたことが、成功でした」と述べられたとおり、参加ライオンの連携と結束力が楽しいイベントを無事終了できた大きな力であったと感じました。

2R1Z

札幌もいわライオンズクラブ

「いつも笑顔でWe Serve!」

PR委員長 L碓井 博亮



今年度、チャーターナイト47周年を迎えました札幌もいわライオンズクラブは、L島口会長スローガン「堅い絆でWe Serve!」のもとスタート致しました。当クラブは、とにかく明るく笑顔の絶えないクラブです。例会や理事会、アクティビティに於いてもあちこちから笑顔がこぼれ、いつも温かい笑い声に包まれています。そして「良き仲間との絆」をモットーに、結束して奉仕活動にも邁進しております。さて、その奉仕活動ですが、当クラブが力を入れているアクティビティの一つが、札幌市知的障がい福祉協会と共催しております「札幌もいわライオンズクラブ杯ボウリング大会」です。このアクティビティは札幌市の知的障がい者施設利用者とそのスタッフ約200名を招待して、当クラブのメンバーとチームを組みボウリングを楽しむというものです。障がい者の方たちも毎年楽しみにしてくれているようで、今年第12回を迎えますが、年を重ねるごとに顔なじみのメンバーもいて「久しぶり」「またボウリング上達したね」なんて会話も弾みます。また、初対面で最初は緊張している参加者も、ボウリングを通して心もすっかり打ち解け、ストライクが出ると、いつの間にかハイタッチ！競技終了後の昼食会では、笑顔いっぱいの和やかな雰囲気となります。「今年もありがとうございました」「また来年も楽しみにしています」そんな障がい者の皆さんの言葉に、我々もいわのメンバーも元気と笑顔をもらい、また次の奉仕活動への活力となっているのです。今年のボウリング大会は2015年11月5日、どんな笑顔に会えるのか今から楽しみです。





2R1Z

札幌まるやまライオンズクラブ

植樹ACTを終えて

PR委員長
L河瀬 茂樹

札幌まるやまLCでは、2012年からの継続ACTとして、札幌市茨戸川緑地での植樹を行っております。



今年度も、10月18日（日曜日）、札幌市茨戸川緑地において三役含めメンバー14名にてCP36周年記念植樹を行い、作業終了後、札幌市より、感謝状をいただきました。

数えて4回目の植樹　昨年度に植樹した箇所の隣にイタヤカエデ、ハルニレ、ヤマグワ、イヌエンジュ、ツリバナ、ヤチダモの6種類2区画植えました。

晴天に恵まれ、絶好の〝植樹日和〟となりました。植樹した木々が、次の40周年、50周年を迎える頃には森として大きく成長していることでしょう。



また昨年度以前の植樹箇所の草刈りも同時に行いました。

草刈り活動は、毎年行われておりますが、毎年植樹を行っているので区画が広くなっております。

樹木の周りの雑草も背丈近く迄伸び、横に伸びている草木もあり、エンジン付き芝刈り機5台での作業でも大変難儀いたしました。私は、三回目の草刈り担当となりましたが、過去2回と比べると時間、内容とも大変ハードな奉仕活動でありました。

又、来年も植樹を予定していると聞いており隣の予定地も樹が無く植樹が必要と見受けられました。

このような事から、一層面積が広がる事を考えますと多くのライオンでの労力奉仕が必要となりますので、メンバーの皆様宜しくお願い致します。

植樹作業、草刈り終了後は、皆でお弁当を食べて、清々しく解散しました。

他の継続ACTとしては、11月に少年友の会への支援金の贈呈、3月に札NPO法人札幌リーディングサービスグループ「朗読110番」への支援金の贈呈を予定しております。

今期の会長スローガン「健康第一絆を深め奉仕活動を」にあるように今後とも、会員同士の力を合わせ、個々の健康に注意しながら、社会奉仕への活動を行って参ります。

2R1Z

札幌大通ライオンズクラブ

チャーター・ナイト25周年記念 植樹アクティビティ

公衆安全・環境保全委員長 L安中 正美





クラブ結成25周年を迎え、最初のアクティビティは西区の五天山公園におこなわれました。当クラブの植樹は1993年の月寒公園にてあじさいの植樹を6年継続、2002年には沙流群厚賀町でヤチダモの植樹、2003年には茨戸川緑地でハルニレ・ヤチダモ他の苗木を6年間、2006年には大通公園にて台風による被害修復で松の木を植えました。2009年からは西区の五天山公園にて5年間は中腹付近にツツジの植樹をしましたが、採石場跡のため岩盤が地表近くにあり根が張りにくい為、2014年からは散策路沿いに多年草の「ヘメロカリス」というユリ科の植物を今年で3年継続植樹をしております。

8月23日(日)五天山公園で現地集合し、通常例会を15分程で終了し、10時より作業開始です。当日はL大屋会長を始めL14名、LL3名の参加で前年植えた隣の場所へ植樹いたしました。宿根草のヘメロカリスはユリ科の植物で、花の開花時期は6月中旬から1カ月位が見頃で花は短命で1日位しか寿命がありませんとのことでしたがまだ10株位が濃い黄色の花を咲かせておりました。公園職員からの指導を頂きながら150株を無事植樹し最後に水をたっぷり散水して作業を終了しました。

続いて併設のパークゴルフ場で新会員の出席もあり会員同士の親睦と日頃運動不足解消にと1ラウンドを行い、お腹も空いた頃、昼食タイムでバーベキューを囲み焼き肉や各ライオンの差し入れなどがあり、食べ過ぎに注意マークがでる程の量で残りは各自持ち帰りとし、無事終了出来ました事を感謝し、まだ散策路沿いには、空き地があり植樹を継続して頂けますよう願いながら報告とさせていただきます。

札幌大通ライオンズクラブ　第26代会長

会長スローガン「ありのままに、そして誇りを持って We serve」

医療法人社団 大屋医院

医師 大屋 隆介

〒003-0862 札幌市白石区川下2条7丁目2-5 TEL(011)873-1123 FAX(011)873-0002

〈札幌大通ライオンズクラブ広告〉

2R1Z 札幌南ライオンズクラブ

我がクラブの新しい旅立ち

PR委員長　L片山　賢

当クラブは本年（2015年）で設立21周年を迎えております。

定山渓ライオンズクラブを親クラブとして、エクステンションされたクラブです。設立当初は会員38名でスタートした当クラブも1990年代はブラックマンデーを端緒としたバブル崩壊に、2000年代はリーマンショックという世界的な金融危機を背景とした世界同時不況の波に翻弄され続け、会員数は次第に減り一時は設立当初の3分の1近くの会員数にまで縮小してしまった時期がありました。



すっかり地域に密着した「献血呼びかけ運動」

会員数の減少は、親クラブもまた例外ではありえませんでしたが、両クラブともチャーターメンバーを中心としたベテラン会員諸氏の努力で、親クラブとの合同アクティビティや親睦アクティビティなどを通じて支えあいつつ、親子の間柄を大切にしてまいりました。

そんな中、諸般の事情によりクラブの会員数激減という悲劇に見まわれた親クラブは、数年間のクラブ運営継続の懸命な努力もむなしく、設立40周年を花道として定山渓ライオンズクラブの旗を降ろすことになりました。

このような逆境の中にあっても、ライオニズムの心を断ちがたい親クラブのOB3名の方々が、それぞれ子クラブメンバーと共に築いてきた絆をよりどころとして、当クラブに新入会を希望されたのは、自然の成り行きであったのかも知れません。当クラブはこれを親クラブとの決別ではなく新たな自立への旅立ちと受け止め、親クラブの輝かしい歴史に恥じぬよう地元への貢献に励むべしとの強いメッセージと理解いたしました。



藤の沢小学校　新一年生へ文具と図書カードの寄贈

幸いにも、2015年7月の新年度開始から新入会員として親クラブとの絆で結ばれた3名の他に地元の新人2名が加わることになりました。さらに9月には新会員1名の入会も加わり、新年度スタート間もないこの時期で40歳代の若手2名を含む6名の会員増強を果たすことが出来ました。これからも地元密着型の奉仕活動を地道に続けることで、地元からの信頼と絆を深めてゆくことこそが、ひいては当クラブの会員増強につながり、さらに地元への貢献度が高まるものと確信し、会員一同新たな気持ちで旅立とうとしております。

Esso エッソ石油販売店
坂東石油株式会社
代表取締役　坂東　功
定山渓サービスステーション
〒061-2302 札幌市南区定山渓温泉東4丁目306番地
TEL011-598-2430・FAX011-598-2827
〈札幌南ライオンズクラブ広告〉

2R1Z

札幌北の杜ライオンズクラブ

「ボッチャ選手権大会支援アクティビティ」

PR委員長
L佐々木正行



私たち、札幌北の杜ライオンズクラブでは9周年を迎えました。来期は、結成10周年の時期となります。

会長スローガンの「心を合わせて、今できる事を全力で」のもと重点項目の一つであります、新しいアクティビティーへの挑戦を掲げ、第17回日本ボッチャ選手権大会予選会への運営支援を行いました。

第9期札幌北の杜ライオンズクラブのスタートは、今まで北の杜ライオンズクラブでの奉仕活動として最も大変だったのでは…と言えるようなアクティビティでのスタートとなりました。2015年7月4、5日(土、日)、北の杜LCのホームとも言える会場の北海きたえーるにて「日本ボッチャ選手権大会予選会」の支援アクティビティを行いました。支援内容としては、大会運営支援として選手(障がい者)の皆さんの会場までのエスコート、駐車場案内、受付、案内、会場整理、清掃、雑用、そして会場撤去という内容の活動をさせて頂きました。さらに金銭ACTとして支援金の贈呈もさせて頂きました。他に札幌ヤクルト販売様よりも協力頂き、ジョア400本を選手はもちろん、介護者、スタッフにも2日間にわたり配布することが出来ました。



初めて目にする障がい者スポーツ、初めて経験するアクティビティという事で、どんな奉仕活動が予想されるか判らなかったのですが、メンバー、他ご家族、友人の方々にまでお手伝い頂き、無事にこの奉仕活動を終えることが出来ました。



有難うございました。

今回の労力アクティビティについては、76名の方々の協力を得て、総労力時間として「372時間」となりました。大変な奉仕活動でしたが、第9期の北の杜LCは最高のスタートをきりました!

2R2Z

札幌アカシヤライオンズクラブ

アクティビティ活動報告

PR・IT情報記録委員長　L高橋俊市



第48回北海道盲学校文化体育活動発表大会報告会

【北海道視覚支援学校支援】

視聴力障害保護委員会担当

「馬に親しむ会」「クリスマスコンサートプレゼント」等のアクティビティで長年お付き合いをしてきた北海道札幌盲学校が北海道高等盲学校と統合・移転され、この4月に北海道札幌視覚支援学校となりました。当クラブでは7月22日に中学部生徒による「私の主張・生活体験発表会」に表彰用メダルと参加賞を寄贈、また、この大会での上位入賞者が出場する第48回北海道盲学校文化体育活動発表大会にも継続アクティビティとして支援金を贈り、報告会(9月30日)に参加しています。視覚に障害があるというハンデを感じさせないほどの生徒達の熱意と真剣さにいつも驚かされ、感動し、生徒達の励みや思い出になるアクティビティとして今後も続けていきたいと都度痛感いたします。なお、今年度はこの後やはり継続アクティビティである「中学部英語スピーチコンテスト」への支援等も予定しています。

【慈母観音供養祭】

公衆安全委員会担当

今年で38年目を迎える継続アクティビティ「慈母観音供養祭」は9月16日に行われました。このアクティビティはCN17周年記念(第17代L岩川正二会長)として交通安全悲願を込めて建立した像のもと、交通事故死者数全国ワースト10に入り続ける北海道を交通事故から守っていただけるよう観音像に祈願するために続けています。当日は天候に恵まれ、北海道交通遺児の会11名、アカシヤLC10名の出席で祈願祭を行い、終了後例年の「茶話会」も開催し参加された方々とのコミュニケーションを取ることが出来ました。



慈母観音供養祭

【少年ドッジボール大会支援】

国際市民交流委員会・ライオンズクエスト青少年委員会合同

札幌ドッジボールクラブ「ジョイフルパイレーツ」主催による北海道NEWフレンドリーカップドッジボール選手権大会への支援は今年で3回目となります。9月21日、野幌運動公園の体育館にて開催されたこの大会には小学生12チーム・中学生3チームの約150名が参加し、当クラブでは参加賞としてマルチバックとスポーツタオルを寄贈、大会当日開会式に参加後子ども達の競技を観戦応援しました。ドッジボールの競技は、組織力とそれぞれのチームの戦術が勝敗を分ける非常に激しいスポーツでした。内野は、横一線に並びます。これは相手の攻撃をかわすのではなくボールをキャッチするためのようです。また、チームによってはパスカット専門の要員をおいているチームもありました。競技に参加する子ども達の汗が光る、素晴らしい大会でした。



少年ドッジボール大会支援

2R2Z

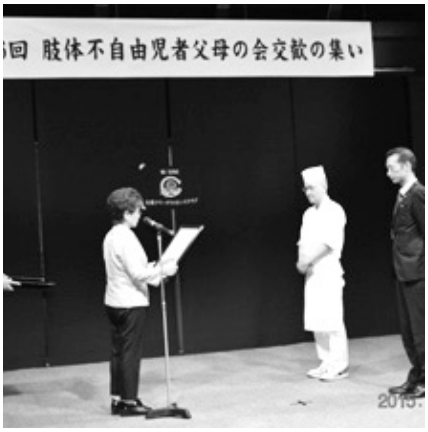
札幌クラークライオンズクラブ

握りたてのお寿司に大満足

PR委員長 L藤田 榮

昨年度、札幌ライオンズクラブは結成40周年の大きな節目に当たり、これまでの感謝の気持ちと、私たちが過去から未来に向けて価値ある奉仕活動を実行すべく決意を新たにしたところです。

今年度の役員は会長をはじめ、他の各役員もライオンズ歴は浅いけど、経験豊富な会員と実行力旺盛な新役員とが協調と協力で新年度を元気にスタートして早や4ヵ月が経過しました。



早速8月初め、会員同士の絆と、クラブの活動を家族の皆さまにご理解いただく意味で毎年恒例の「暑中家族会」を開催いたしました。当日は年齢の差が80歳もあろうかと思われる方々の参加を頂きとても賑やかな暑中家族会でした。



秋の気配も感じる10月初め、今年26回目となる「札幌肢体不自由児者父母の会交換の集い」が総勢130名の参加で、ジャスマックプラザで開催されました。あいにく当日は札幌マラソンの開催日にあたり、皆様には会場付近の交通規制で駐車などご不便をおかけしましたが、予定通り開催出来ました。このACTは毎年「札幌鮨研究会」の皆様とご一緒させて頂きますが、早朝から準備と参加者への食事の提供を、ジャスマックプラザのスタッフには食事と数々のお手伝いで大変お世話になりました。

今年のお寿司の配膳は数人の寿司職人が食材の乗ったワゴンで各テーブルに回り、その場で握ってテーブルに並べ、出来立てホヤホヤの美味しいお寿司を召し上がって頂こうと工夫をこらしたことで、ご本人はもちろん、父母の会の皆様にはお寿司の味と同時に雰囲気を味わっていただけたことで家族の方々と共にとても喜んで頂きました。



アトラクションは父母の会のご希望もあり、昨年同様「バルーンアート」を用意し、細長～い風船から次々に出来上がる鳥や小さな動物など、楽しい時間は歓喜の拍手と共に過ぎていきました。

来年も必ず…と約束して、無事に終了いたすことが出来ました。

大きなACTは中々出来ませんが、心と笑顔の通うACTを今後も続けて参る所存でございます。

2R2Z

札幌時計台ライオンズクラブ

『潮ねりこみ』参加、笑顔をもらう

PR委員長　L中原　猛



第41回北海道盲学校文化体育活動発表大会報告会

去る7月25日、小樽潮祭「潮ねりこみ」参加アクティビティを実施いたしましたのでご紹介いたします。

読者の皆さまにおかれましては、「潮ねりこみ」って何?何で祭りに参加することがアクティビティになるの?との思いを抱かれると思いますので、まずはご説明いたします。

小樽潮祭りは、毎年7月最終日曜日の2日前から3日間に渡り、開催されるお祭りで、「潮ねりこみ」はその2日目に催されるイベントです。そこでは、小樽市内外の企業や団体などがチームを結成し、小樽市街地を「おたる潮音頭」「潮おどり唄」で踊りながら練り歩くのです。

もちろん、我がクラブが、チームを結成して踊るのではありません。主役は、障がい者支援施設・社会福祉法人志成会・朝里ファミリアの入所者の皆さんです。私たちのアクティビティは、施設の職員の方々、学生ボランティアの方々とともに、入所者の皆さんの車イスを押して、「潮ねりこみ」に参加し、入所者の皆さんのお手伝いをするというものです。

このアクティビティは、今年で3回目になります。我々は、これまで同様、本番前の練習からお手伝いをしておりますが、練習と言っても、まさに本番さながらで、皆さんがどれほどこのイベントを楽しみにしているか分かります。

〝準備万端 いざ出陣〟



昨年、一昨年は天候に恵まれず、特に昨年は、「潮ねりこみ」が中止となりましたが、今年は、天気に恵まれました。皆さん、力一杯鈴の付いた団扇で調子を取り、大きな声で音頭に合わせ、「ソーレ～、ソーレ～」と掛け声をあげ、昨年の無念を晴らしていたようでした。そして、我々も、大きな声を出し、笑顔をもらいました。また、職員の方々、学生ボランティアの方々の、常に障がい者の皆さんのことを考えての行動には、常に頭が下がる思いでした。



とても楽しく、そして感銘を受けた一日でした。皆さんありがとうございました。

2R2Z

札幌パイオニアライオンズクラブ

【動物愛護ACT】

～「認定NPO法人 HOKKAIDOしっぽの会」への支援～ ACT実行委員長

L飛谷 正人



平成25年度の統計によると、全国で1年間に犬が約2万9千匹、猫が約10万匹も殺処分されています。子犬・子猫が産まれちゃったから、懐かないから、病気になったから、年を取ったから、引越しするから、旅行に行くからなどの理由で、保健所や動物愛護センターに持ち込んだり捨てたりする無責任な飼い主が後を絶たないからです。また、繁殖に役立たなくなった等の理由で遺棄する、悪質な繁殖業者も多いようです。

身勝手な人間が自分の利益や欲求だけを重視する一方で、殺される運命の犬猫を1匹でも助けようとする人達もいます。そんな団体の一つが、長沼にシェルターを持つ「認定NPO法人 HOKKAIDOしっぽの会(http://shippo.or.jp/)」です。

しっぽの会は、平成14年に代表の稲垣さんが個人で始められ、今では13名のスタッフさんと多くのボランティアさんによって運営されており、シェルターには保健所等から引き出した70匹あまりの犬、50匹ほどの猫が暮らしています。

近年では、保健所等でも新しい飼い主を探す努力をして、徐々に成果が現れていますが、やはり成犬・成猫は貰われづらいのが現状です。しっぽの会では成犬・成猫のみならず、病気や年を取った犬猫も積極的に受け入れており、人馴れしていない犬猫にはシェルターで人に馴れさせつつ、新しい飼い主を見つける活動をしているのです。



我々札幌パイオニアライオンズクラブでは、2期前からしっぽの会への支援を始め、犬猫のトイレに使用する新聞紙を千切ったワサワサと寄付金を贈呈しています。

今年度は、10月1日にメンバー17人が集まってワサワサ造りを行ったほか、各自が家庭でも作成し、合計80袋のワサワサを10月2日と8日にしっぽの会に持参しました。このワサワサ造りには、児童デイサービスセンター「第3わんぱくランド」の子供達にも協力してもらっています。

8日には5人でしっぽの会を訪問し、ワサワサとクラブからの寄付金、ゴルフ部会からの寄付金をお渡ししてきました。犬舎と猫舎も見学させていただき、毎日のお世話や現状をお聞きすることができました。

我々ができることは本当に僅かですが、今後も微力ながら、しっぽの会へのサポートを通じて、小さな命も大切にする心豊かな社会づくりに少しでも寄与していけたらと考えます。



2R2Z

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

シニアも参加した少年軟式野球大会

PR情報委員長　L井上　定幸



昔、意気あがる。今は息あがる名選手たち

今年も巡ってきた少年軟式野球大会、子供たちが最も楽しみにしている大会でもあります。その訳は、優勝チームはもとより抱えきれないほどの表彰の品々を手にする栄誉にあります。九月中の休日を全て野球一筋に打ち込んだ子供たちの意気込みが充分に伝わってきました。

今年は、特別参加の「室蘭さすがアクターズ」が決勝戦の前に少年たちと親善試合を行いました。かつての北海道高校名手高屋敷日出夫さんが率いる還暦を過ぎた往年の野球少年のチームです。

自分の孫たちとも呼べる子供たちと戦い、結果は10対0の圧勝。少しは手加減しても良いのでは、との問いかけに、高屋敷監督は「子供たちと真剣勝負で野球ができる幸せを実感しています。どんな試合でも手を抜くことはありません」とのことでした。

少年たちにも思いは届いたことでしょう。今度は、「じいちゃんたちに勝ってみせる」と闘志を燃やしているに違いありません。

連綿と続く少年軟式野球大会、今年で一九回を数えます。野球の他に会場では数々のアクティビティが併行して行われました。

閉会式会場の前には、献血車を横付けにし大会関係者の献血の協力を仰ぎました。昨年に続き、今年も二万mℓの大量献血実績をあげております。

北海道盲導犬協会からは、盲導犬を派遣して頂き、子供たちは最初はおそるおそる、馴れるに従って抱きついてのふれあいを堪能していました。私たちは彼らが成人した時、目の不自由な人たちや障害を持つ方たちへの理解を有した優しい大人になって欲しいとの思いを込めております。

開会式では、少年野球協会の父母会から古切手等の寄贈を頂きました。このように野球を通じた輪を通して子供たちが社会奉仕の窓を開いてくれることを願って、また来年の大会の構を練っております。

最後になりましたが、多忙の中大会表彰式に臨席を賜り少年少女を励ましていただいたガバナーL安部尚明に大いなる感謝を申し上げます。



打ったぞ。ボールは何処へ

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

会　長　L堀岡　咲枝　　会　計　L上西　武紀
幹　事　L山﨑　光彦　　PR委員長　L井上　定幸

会長スローガン「楽しく社会奉仕の輪を咲かせましょう」

事務局　札幌市中央区南４条西13丁目2-25 札幌グレースビル
TEL(011)520-2227　FAX(011)520-2228
羊が丘ライオンズクラブ　検索
hitsuji@cube.ocn.ne.jp

〈札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ広告〉

2R2Z

札幌グリーンライオンズクラブ

「千島桜頒布及び緑どうなったか?授業応援」ACT

環境保全委員長
L忠海 健三



札幌グリーンライオンズクラブのモットー「緑を愛し、地球環境を大切に!」基本理念のもと、環境保全委員会は緑の大切さを主体とした様々なACTを実施してきました。

五ヶ年継続してきました「中島公園樹名板名板設置」ACTが前年で終わり、その後のメーンACTとして標題の「千島桜頒布及び緑どうなったか?授業応援」ACTを実施することとしました。

クラブ結成時よりクラブモットーに基づき、緑を増やし大切にするACTを考えておりました。たとえば、市内の学校に苗木を植樹し子供たちの教育の一環になればと提案したところ、維持管理・危険防止の観点から花が望ましいとのことでした。「中島公園樹名板名板設置」ACTの中で千島桜に樹名板を取り付けており、千島桜はあまり大きく成らず北海道らしく他に類を見ない桜であり、市民に何らかの方法で頒布し自己責任で育ててもらうことを考えました。そして、この計画を実行することでACT資金獲得事業に育ってほしいと願っています。

苗木調達を専門業者に打診したところ素人では難しい…茨戸川環境市民フォーラムの植樹を指導している北海道科学大学岡村教授より、現在の苗木を育成している方法であれば十分作ること可能とのアドバイスあり。

そこで、毎年千島桜を見ていただくため構内を開放している(国研)寒地土木研究所に相談の結果、種の採取・苗木の育成・市民への苗木頒布等についてご了解をいただきました。また、(国研)寒地土木研究所が協力している「緑はどうなったか授業」への応援も行うこととしました。

6月22日千島桜の苗採取し植え付け、芽が出るのは一度寒さに当った後、すなわち来春です。

市民への頒布開始は数年後になり息の長いACTとなります。

また、9月17日洞爺湖温泉小学校「緑はどうなった?授業」(2015年秋季)にも参加、子供たちと共に樹木の種探しを行ってきました。

始まったばかりのACTです、千島桜成長と共に大きく育ってほしいと期待しています。



札幌グリーンライオンズクラブ
基本方針「緑を愛し、地球環境を大切に」
会長スローガン「歴史を重んじ、未来志向でリスタート」
会長 L岡山 豊昌　幹事 L谷川原 友美　会計 L山田 一男
事務局　〒064-0804 札幌市中央区南4条西3丁目北星ビル5F
TEL(011)221-0331　FAX(011)221-3879
http://www.sapporogreen-lc.jp/
〈札幌グリーンライオンズクラブ広告〉

2R2Z

札幌ノースライオンズクラブ

『第4回北海道すこやかマラソン大会』

PR委員長　L大西仁詩



当クラブの主なアクトとしては、七五三アクト、アイスホッケー大会、マラソン大会、記念植樹があります。

青少年健全育成のアクトである、アイスホッケー大会、マラソン大会は9月、10月の秋に集中しています。

その恒例アクトである、『第4回北海道すこやかマラソン大会』が平成27年10月10日、豊平川河川敷で開催されました。

今年は台風の影響で開催日前日まで雨や風が強くて心配しましたが、秋晴れのもと230名の参加者が集まりました。

本アクトも今年で第4回となり、徐々にマラソン大会としても認知されるようになりました。

また、大会運営においてもまだまだ改善の余地はありますが、当クラブ会員の分担作業も計画的に行えるようになりました。

ボランティアスタッフの活動も役割が定着してきてスムーズに行えるようになってきています。

これだけの規模になると当クラブ会員やボランティアスタッフの協力なくして大会は成り立ちません。



今年もお子さんとお父さん、お母さん家族での参加が多く、笑いあり、涙ありの楽しい大会となりました。

毎年のことながら、小学生の足の速さには驚かされます。

表彰式で表彰状やトロフィーを受け取る子供たちの笑顔をみると、この大会を開催して本当によかったと心から思います。



来年は記念すべき第5回大会となります。もっと役割を細分担化し、1人にかかる負担を軽減し、スムーズな大会運営ができるように工夫していきたいと思います。また今年以上により多くの子供たちに楽しんでもらえる大会にしたいと思っています。

2R2Z

札幌わかばライオンズクラブ

「初心に返って愛あるウィ・サーブ」

PR委員長　L遠藤　壮



七月十五日第十一代会長L泉 孝男の出港例会が東京ドームホテルにて開催された。

第十一代会長は、六十一年生まれの五十四才。脂ののりきった年代である。しかも出港例会から二名の新入会員入会式を行うことが出来「順風満帆」の出港であった。

今期一発目のアクトは場所を浦河の地へ変えてから五回目の浦河少年サッカー大会である。七月十九日海の日、札幌より三時間の道のりを、ゾーン・チェアパーソンL美田法賢ゾーン委員L鶴見修己にも駆けつけていただき開会式に花を添えていただきましたことに感謝申し上げます。



道内各地より二十八チームの参加を頂き選手総数四百名弱、引率父兄を合わせると千名強、全ての関係者が町内に宿泊。人口一万三千人の町は子供達で溢れかえり町内の宿泊施設、コンビニ、食堂、居酒屋にも確実に経済効果を波及させていることを考えたとき、私たちの行うアクティビティの意図や意味を改めて実感することが出来る。

さて、夏も終わりかけのお盆明け十月二日開催のチャリティーコンペを巡り真夏の熱気にも負けない熱い議論が繰り返された。今年で七回目、百六十名をベースに滝のカントリーと打合せを進めていった。しかしながら今年の実行委員長は百戦錬磨のL藤井、あっという間に四十五組に到達。滝のカントリーにお願いし枠を広げていただき開催に漕ぎ着けた次第である。

開催当日は台風の影響で東北から北海道に掛けての爆弾低気圧、一時はどうなることかとスタッフ一同やきもきしましたが三名の欠席だけで無事ティーオフ。おかげさまでwakabaオリジナルティーのチャリティー募金も十七万五千円、皆様の熱い友情とライオニズムに感謝。

最後に、十二月タイ王国はバンコクにて行う国際アクティビティである。昨年のアクトにL山田は一泊三日という強行スケジュールでも参加し、お米を配るくらい魅力あるアクトである。二回目までは手探り状態であり古着を整理、梱包、輸出手続、通関手続、関税、現地配送までを参加メンバー全員で実行。しかしながら費用と時間を考えると現地調達の方が確実で安価に納まることを学習し現在に至る。ここ2年間はバンコク市内のプラティープ財団への支援を続けおり本年も同財団への食糧支援を行う。

以上三本が札幌わかばライオンズクラブのメインアクティビティである。いずれも全員参加でなくては実行不可能なものばかりでありチームワークと「愛あるウィ・サーブ」これが私の自慢である。

6R1Z

江別ライオンズクラブ

「青少年育成事業資金造成チャリティビアパーティ」を終えて

PR委員長

L大表　睦子



平成27年9月4日江別コミュニティプラザあおいにてチャリティビアパーティを行いました。このビアパーティは青少年育成事業資金造成として平成23年から行われている継続アクティビティで、今年5年目を迎えました。これまでにこの事業で得られました資金により青少年多目的四方幕テント4張を江別市教育委員会のほうへ寄贈しております。

第一副会長を実行委員長とした実行委員会が準備を進め当日に備えました。そして当日は朝から雨が時々降りビールを飲むには少し心配ではありましたが、それぞれ会員も役割を分担、お客様に少しでも楽しんで頂きたいとの思いでお待ちしておりました。会場が4階でしたのでエレベーターが上がって来るたびに沢山のお客様がおいでになり、私は受付におりましたので大変嬉しく思っておりました。

早めにいらしたお客様にはウエルカムドリンクをお渡しするなどしておりましたので、午後6時岩田会長続きましてご来賓の挨拶、そして佐々木前会長の乾杯の発声の時にはもう大変賑やかに盛り上がって楽しんで頂いていたようでした。また今年は実行委員長が子供たちにも是非参加して楽しんでもらいたいと「金魚すくい」「綿あめの実演」「かき氷」(大人のかき氷?もありました)等趣向を凝らし、会員にとってはその分忙しくはなりましたが、でも一段と賑やかで活気のある楽しいパーティになったことはいうまでもありません。助六寿司、唐揚げ、焼きそば、人気のドーナツ等の売れ行きも好調でした。メンバーによるチャリティコンサートではリクエストコーナーで演歌のリクエストにちょっと困った楽しいトークもありました。そして最後にメンバーの持寄った景品の抽選を行いビアパーティもお開きとなりました。



今年で5年目を迎えるビアパーティですが江別市民の皆様にも少しずつではありますが定着しつつあるのではないかと思います。会場の都合上今年は原則立食で行いましたが、お客様の年代等も考慮するとやはり椅子席にすべきだった、マイカップをもっと徹底させたい等の反省点もありましたが、毎年改善を重ね皆様に楽しんで頂きながら資金造成に繋がっていける様今後とも頑張っていきたいと思っております。



ご来場頂きました皆様に改めまして感謝申し上げます。

6R1Z

当別ライオンズクラブ

札儀・作法を体験させるテニス教室

PR委員長
L佐々木 成尉



第54代L近藤進会長の下、当別ライオンズクラブの新年度がスタート致しました。会員は45名が一団となって活動を進めています。当クラブには、継続アクティビティが数多くございますので、ご紹介いたします。

①「交通安全運動セーフティコール」
年4回開催されメンバーと町民の方々が参加して、幹線道路沿道にて「スピードダウン・シートベルト着用」等の通過車両に対して安全を呼びかける。

②「ライオンズの森整備」
当別町阿蘇公園内にあるライオンズの森の草取り、剪定を行う公園整備をする社会奉仕活動。

③「第7回当別ライオンズ旗争奪町内会対抗パークゴルフ大会」
町内会の人達の健康、コミュニケーションの場を目的とし開催をしており大いに喜ばれています。

④「献血啓発活動」
献血対象者が少ないため、メンバーの声かけ等を行い、年々増加傾向です。本年度も継続的に進めてまいります。

⑤「薬物乱用防止教室」
最近の薬物使用の低年齢化に伴い、町内小学校高学年、中学校、高校、生徒に、薬物の怖さを伝え、次代を担う社会の宝である子どもたちが健全な成長ができるよう薬物乱用防止教室の開催を進めてまいります。

⑥「マナーキッズプロジェクトテニス教室」
テニス教室への参加協力支援を行うことで、スポーツ・文化活動を通じて日本の伝統的礼儀や作法を体験させ「体・徳・知」バランスの良い子どもを育てることを目的とした事業で、実施した全国の幼稚園・小学校から高い評価を得ている事業で、本年で4度目の参加となりました。

⑦「当別町新春子どもカルタ大会」
カルタ大会は今年度で第45回目になる継続事業であり、町内各地域から小中学生が多数参加し、例年、子どもたちの掛け声が会場に響くほどの熱戦が繰り広げられております。





6R1Z

石狩ライオンズクラブ

地域間の絆の深化を目指して

PR委員長
L石山 俊之



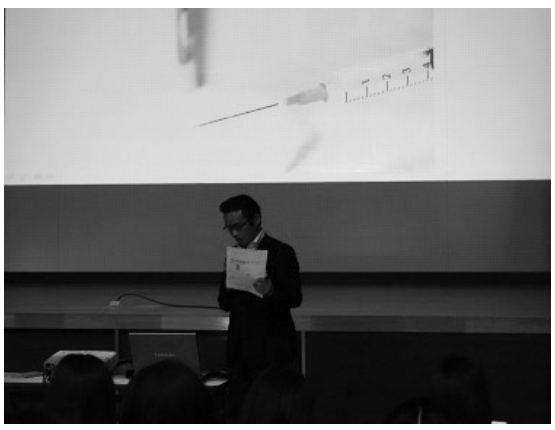
石狩ライオンズクラブは昨年40周年の節目を迎え、6月の記念式典では多くのご来賓の方々にご臨席賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。

さて、人口減少・少子高齢化等の社会経済情勢の変化や地方分権の担い手となる行財政基盤の確立を目的として「平成の合併」が推進され、石狩市では平成17年10月に旧厚田村・旧浜益村を編入合併しました。それから10年が経過し、より一層の発展が期待される時期を迎えておりますが、市民の実感としては、三つの地域の住民の「一つの市の市民」としての一体感が薄いのではないかと思われることが度々あります。この様な背景から岸本教範会長がスローガンとして「奉仕で結ぶ地域の絆」を掲げ、ボランティア活動を通じて三つの地域の「絆」のより一層の深化を図るべく今年度の活動がスタートしました。

第1段の取組として、7月23日に石狩市立浜益中学校で薬物乱用防止教室を開催いたしました。浜益中学校は広大な校区を有する小規模校で、生徒数30名ながら保育園・小学校と一つの学級で生活してきており生徒同士、気心が知れている様子が窺えました。



薬物乱用防止教室へは全校生徒の30名が参加。開始直後に薬物乱用防止読本薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」と3D下敷きを配布し、DVDを上映。岸本会長の講演「薬物の危険と犯罪事例」の後に生徒と教師によるロールプレイを実施しました。ロールプレイ参加の生徒には、薬物乱用防止教室の少し前に台本を見せ、その上で「上手に」「きっぱりと」「強い意志で」断る台詞を考えて実演して貰うことで、よりリアルなリアクションとなる様に工夫して頂きました。



偶然にも石狩市の現役の市議会議員が覚せい剤取締法違反容疑で7月1日に逮捕された事件もあり、本教室への関心が非常に高く、有意義なACTが実現できたと思います。これを機に定期的に薬物乱用防止教室が開催され、市民の皆様に活動を知って理解して頂き、「絆」の深化に貢献できれば何よりと考えています。

6R1Z

江別グリーンライオンズクラブ

24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティイベントに参画

PR委員長 L毛利 秀行



江別グリーンライオンズクラブでは、会長にL政田知一を迎え今期スローガン「先人の伝統を尊重し、未来につなげよう！」を掲げ日々精進しております。当クラブのアクティビティには、薬物乱用防止教室、献血ＡＣＴ、市内小中学校への図書贈呈、交通安全市民総決起集会ＡＣＴ（旗の波街頭啓発）、植木ＡＣＴ、サクラ園冬囲いＡＣＴ、盲導犬ミーナ募金運動、ＹＣＥ生受入パートナーシップ支援ＡＣＴ、緑の羽募金運動、等がありますが、また、今期に於いては初の試みとなりましたアクティビティと致しまして、8月22日(土)・23日(日)に放映されました、24時間テレビ「愛は地球を救う」における募金活動への参画を江別ＬＣの協力を得て実施致しました。チャリティイベントとして、飲み物とおつまみのチケットを販売、当日会場においては地域で活躍するジャズバンドグループと社会人ブラスバンドグループを招いた演奏会が行われました。

さらには、「介護高齢者の社会参加」の機会を創出する目的で、介護高齢者の自立支援というものに対し真剣に取り組まれている介護施設利用者のボランティア協力による募金活動が行われました。グループ各施設で集めた募金箱のチャリティイベント会場への持込み、そして24時間テレビのテーマである黄色いＴシャツを着用し、介護高齢者自身による募金受付のボランティアなど、普段の日常生活から一歩外に出た体験を社会参加という形で実現、参画した方々からは「人の役に立つことが出来た」と喜びの声を頂けました。





6R2Z

千歳ライオンズクラブ

愛されるキラキラコンサート

会長
L杉林裕市



我が千歳ライオンズクラブは、会長スローガンにも掲げております『過去に学び、未来へ繋ぐ　奉仕の輪』の通り、未来を担う青少年育成を社会全体の責務と考え、青少年の育成事業をクラブの基本活動のひとつにしております。

市内各中学校・高校にて「薬物乱用防止教室」の開催にも力をいれており、毎年秋季には、「千歳ライオンズ旗争奪少年サッカー大会」を行い、子供たちの熱い戦いに感銘を受けております。

その中でも当クラブが長年大切にしている活動が「キラキラコンサート」であります。この事業は、２００１年に千歳市内小中高５校の参加により始まった、生徒による吹奏楽・リコーダー合同演奏会です。今年で第15回目を迎え、回を重ねるたびに多くの市民に愛され、今では音楽活動に励む千歳の子供たちの目標となるイベントとして定着しつつあります。

今年は7月26日(日)13時より開演し、千歳市長をはじめ１０００人を超える観客数の中、千歳市内小中高7校の生徒が、この日のために休日返上で練習を積み重ねた汗と努力の結晶を、力強く熱意あふれる演奏で表現していただき、胸の震えるひと時を過ごすことが出来ました。前日のリハーサルや開演前に見せてくれた可愛い笑顔と元気な挨拶が、当クラブメンバーの励みとなっております。

昨年の例会では、第1回キラキラコンサートに参加していた卒業生をゲストに招き、当時の思い出や今後へ期待する思いなどを話していただき、当クラブメンバーも初心に立ち返り思いを新たにしたところです。



このように15回目を迎えることができましたのも、ひとえにライオン諸先輩の力と、演奏する生徒の皆様、それを支える先生、父兄、関係者、地域の皆様方の多大な陰の力と協力があってのことと、感謝の気持ちで心がいっぱいであります。

今後も地域に密着し笑顔で奉仕活動が出来るクラブを目指し、メンバー一丸となって社会貢献に努めていきます。

6R2Z

恵庭ライオンズクラブ

青少年サイクリング継続30周年

PR情報委員長 L上坂 孝夫

恵庭渓谷にある漁（いざり）川（がわ）ダム、提高45.5ｍの下流に3万平方メートルのダム公園がある。春の桜、夏の新緑、秋の紅葉と四季を通して楽しむことができ、この中に、毎年「桜」を植樹してきた「ライオンズの森」が創られている。

恵庭ライオンズクラブが青少年の健全育成を目指し、このダム公園へサイクリングを初めて丁度30年を迎えた。恵庭湖ダム公園（石狩川支流漁川特定多目的ダム）の完成（１９８０年）までない１９８６年から「青少年サイクリング」を開始。開催時期の9月下旬は、白樺や楓が色づきはじめ、絶好の行楽日和、多いときには３００人を超える参加者があった。

当初、サイクリングを行ったこの道路「どん詰まり」で車もほとんど通らず、大勢で十分楽しむことができた。しかし、10年ほど前に道路（道道１１７号線）が、札幌～支笏湖間の国道につながり交通量が一気に増加。サイクリングロードが併設されていないここの道路、自転車は危険きわまりない状態になってきた。改善策を考えたが、他のルート変更はまったく使えず、２００８年から「行き先」を石狩平野のど真ん中、田園地帯へ変え、現在も続けている。

今年のサイクリングは少し早い９月12日、南島松の恵庭市保健センターを起点に北広島市に近い北島地区「北栄会館」までの往復 20㎞の田舎道を小さな子供からお年寄りまで参加。出発式には、来賓の恵庭市教育委員会穂積邦彦教育長が「スポーツの秋、ケガに注意し楽しんでください」と激励のあいさつ。参加者とライオンズメンバーあわせて１５０人が一斉にスタートした。参加者全員が農園に立ち寄り、「新鮮野菜」をお土産にもらい大喜び。

その他のメンバーは、参加者の安全確保のため、医療チームや自転車協会の協力を得た修理チームの他、交差点の横断指導などで活躍。また、昼食用の「豚汁」準備やお土産のパン詰め、全員がフル回転だった。

低気圧が近づき天候を心配したが、出発時に青空が顔を出し、最終まで無事に終了。この時期としては珍しく、幸運にも30回とも一度も降雨のため中止したことがありません。自慢のできるアクティビティのひとつである。

このように、恵庭ライオンズクラブが30年にわたって続けてきたサイクリングは、市民に大きく影響を与え、今年は「えにわ自転車散歩２０１５」が行政とえにわ自転車散歩実行委員会が主催し行われた。恵庭市をはじめ近隣市町村85㎞を廻るコースや56㎞コースが用意され、本年は１８１人が参加、遠くは網走からも参加したと言う。また、札幌市から延長され続けている「自転車専用道路」は、いよいよ恵庭市まで延びることが本格化した。

「継続は力なり」ライオンズクラブの地味な活動が素晴らしい世に貢献できる。

恵庭温泉
ラ・フォーレ
営業時間 AM11:00～PM11:00
恵庭市恵南 4-1　TEL(0123)32-4171
http://www.eniwa-onsen.com/
〈恵庭ライオンズクラブ広告〉

6R2Z

北広島ライオンズクラブ

北広島ふるさと夏まつり出店

PR委員長
L佐々木道志



愛と奉仕の店

今年で37回目を迎えた北広島ふるさと祭り（8月1日・2日開催）に参画しました。

今年の祭りは、ＹＯＳＡＫＯＩソーランなどの沢山のイベントが開催されると共に祭りの最後を飾る花火大会も盛大に行われました。

北広島ライオンズクラブは、盲導犬育成基金活動と事業資金の獲得を主な目的とし、活動を通じてライオンズクラブをＰＲすることが出来ると考えました。

当日の出店内容は、焼き鳥・トウモロコシ及び飲み物の販売でした。

２日間共に晴天に恵まれたので、多くの市民が来場し、焼き鳥と飲み物が飛ぶように売れました。あまりの売れ行きに商品の供給が間に合わない程でした。

予想以上の売れ行きとなったので商品を追加注文するなどして、過去最大額となる売り上げ・事業資金を獲得することに成功しました。

この事は、担当である社会奉仕委員会Ｌ奥田委員長を中心として参加した会員全員の頑張りの賜だと感謝しております。

テントの設営・撤収や焼き鳥製造の一部を会員の高齢化による体力低下と安全性を考え障碍者福祉施設「北ひろしま福祉会」へ委託しました。障碍者の雇用の確保という意味でも良かったと思います。また、北広島ライオンズクラブの継続アクティビティである盲導犬育成基金活動は、北海道盲導犬協会より盲導犬の派遣を受け、祭り会場内で行いました。来場した多くの市民が盲導犬に触れ合うことで、視覚障がいと盲導犬に対する理解が深まり、支援の輪が広がったと実感しました。そして、テント内では、来場者と会員の交流も行われ、当ライオンズクラブのＰＲも出来ました。


盲導犬募金活動


トウモロコシ販売

当初の目的も達成されると共に故郷意識を育む祭りの一端を担う事が出来て大変有意義なアクティビティになりました。

これからも50周年に向けて、会員一丸となって積極的に活動し、社会貢献を行ってまいります。

6R2Z

千歳中央ライオンズクラブ

「スポーツ少年団への支援」

接待・親睦委員長 L坂口 雄二



私共クラブは今年9月を迎え、33周年記念例会を終える事ができ、会長スローガン「地域に根ざした奉仕活動」を再認識するかのように年3回の献血事業、岡山西大寺LCとのサケ稚魚放流事業は勿論のこと、このたびの寄稿記事お題目について紹介させて頂こうと思い、クラブの諸先輩に代わり乱文を書く次第となりました。

野球、剣道、柔道、羽球（バドミントン）これら4競技の少年団大会に当クラブは優勝旗を贈り込み大会助成金を拠出しております。毎年5月は羽球大会皆さんもご存知のように反射神経、瞬発力を必要とする競技で最近の国際大会やオリンピックでも日本の選手が活躍している昨今、中・高生の選手諸君がシャトルを追い対戦相手に力の限り打ち返すがスマッシュを決められてしまう等胸がすく場面が多くあり、白熱した試合には、緊張感を楽しむことが出来ます。

さて剣道・柔道はどうでしょう。日本の国技と言うべき古来から身を守る武術として発展し心身共に磨き上げ多くの指導者の力添えによって現在まで生き永らえ、各地の少年団活動から優秀な選手達が輩出されているのは言うまでもありません。正座し背筋を伸ばし正視する姿は凛々しく、美しい心の表れかと思い、青少年が一心不乱に相手に立ち向かって行く様子には涙する事さえあり、わが人生にもこんな瞬間が必要かと、手遅れになる前にネオン街に行くのを控え、心身ともに鍛えなおさねばと思うところでございます。

例年8月には中央ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会が開催され、千歳市内11チームの少年団が2日間にわたり熱戦を繰り広げ、暑い日差しに負ける事無く好プレーを演出し、日頃監督・コーチから叱咤激励を受け、練習で鍛えた成果を自己表現し、ヒット一本・三振一つの思い出作りに家族揃っての応援合戦は微笑ましく私共の冠杯が、無駄な事無く青少年の育成に役立っていると再認識ができます。

以上4競技への支援について書き綴ってまいりましたが、当クラブ冠旗争奪の大会で、延べ千人以上の青少年、指導者、そして父母家族の皆さんと係わる事になりLCの奉仕・支援活動を忘れる事無く、記憶願えれば私達も大変嬉しく次回の大会が待ち遠しくなりますね。



来年6月CN60周年を迎える記念ACT

札幌ライオンズクラブ 幹事
L道下 大樹

「めざせ稲葉篤紀さん！少年野球教室in札幌ドーム」開催



来年6月にCN60周年を迎える記念ACTとして、去る9月13日、北海道日本ハムファイターズと共同主催で「めざせ稲葉篤紀さん！少年野球教室in札幌ドーム」を開催しました。

野球教室には当クラブが活動に協力している、チーム名に「ベアーズ」がつく少年野球団で組織する「札幌ベアーズ会」より11チーム・選手120人と監督・コーチに参加して頂きました。

ファイターズからは稲葉氏のほか、元プロ野球選手のファイターズアカデミーコーチ2人に指導して頂きました。

まずキャッチボールの練習から始まり、「相手が次の投球動作に入りやすいように胸に目掛けて投げるんだよ」とのアドバイスや、捕球の構えから送球までのスムーズな体の動かし方を伝授。守備練習や素振り、バッティング練習でもプロの実力と経験に基づいた丁寧な指導がなされ、憧れの稲葉氏からの直接指導に子どもたちは目を輝かせながら練習に打ち込んでいました。



約90分にわたる指導後の講話で稲葉氏は「今日教えてもらったことをすぐにノートに書き写してください。読み返した時にすごく勉強になります」と現役時代に野村監督に教わったエピソードを交えながら「野球は思いやりのスポーツ。感謝や挨拶、礼儀はとても大事です」「野球でも勉強でも何でも準備が大切です。忘れずにやってください」と子どもたちに語りかけていました。

道民に多くの勇気や感動を与えてこられた稲葉氏とアカデミーコーチ陣による熱心な指導や、稲葉氏の野球にかける熱い思いを込めた講話を、真剣な表情で受け止めていた子どもたちの姿に会員一同強い感銘を受けました。

また、会場では子ども向け無料電話相談「チャイルドラインさっぽろ」への募金や献血への協力を呼びかけました。

当クラブの今回のACTの目的である「青少年の育成」「スポーツを通じた地域振興」に微力ながら寄与できたとすれば、これに勝る喜びはありません。



WE SERVE

札幌ライオンズクラブはCN６０周年を迎えます

これからも青少年育成のための活動に全力で取り組みます！

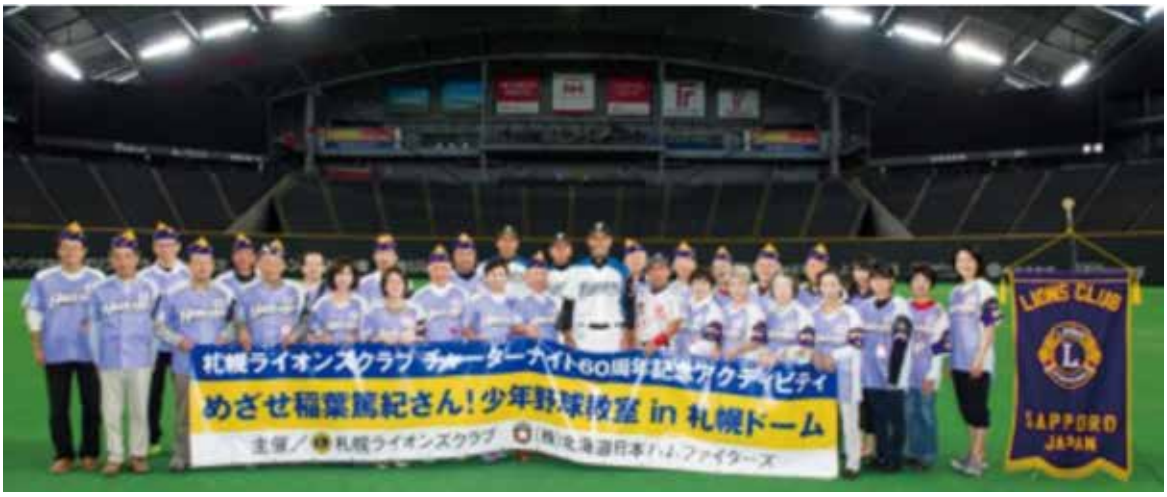
会長スローガン：大志を抱いて未来へ奉仕

私たち札幌ライオンズクラブは、北海道では１番目のクラブとして１９５６年２月に結成され、2016年６月にCN60周年を迎えますが、これまで植樹などの環境保全や献血促進、障がい者支援、青少年育成の活動に取り組んできました。

また60周年記念アクティビティとして、今年９月１３日には、札幌ドームにおいて北海道日本ハムファイターズの稲葉篤紀氏を講師としてお招きして少年野球教室を開催しました。さらに１０月１０日には、札幌市の幼年・少年消防クラブ結成３０周年記念式典に特別協賛し、ライオンズクラブの広報と献血活動、チャイルドラインさっぽろの募金呼びかけを行いました。

私たちは、これからも「ウィ・サーブ」の精神のもと、社会奉仕活動に全力で取り組んでいきます。

2016年6月16日（木）CN60周年記念式典を開催します











〈札幌ライオンズクラブ広告〉

「CN35周年記念式典を迎えて」

札幌リバティライオンズクラブ 会長
L干場 輝明
PR委員長
L三浦 昌直



私ども札幌リバティライオンズクラブのCN 35周年記念式典並びに祝賀会が 10月4日札幌第一ホテルで開催されました。1980年12月10日に国際本部より認証状をいただきチャーターナイトを開催して以来35年の間、スポンサークラブやブラザークラブ、全国の同名クラブをはじめと多くの皆様の温かいご支援を賜りましたことを、当クラブを代表して心より感謝と御礼を申し上げます。

当クラブは「青少年の健全育成」をクラブ理念に掲げ、次代を担う青少年が自他ともにかけがえのない存在であることを認識し、また社会の一員であることを自覚し、自ら進んで社会参加できるよう、地域社会と協力して夢と創造性を育むことができる社会づくりに取り組んでまいりました。私たちを取り巻く環境は、人口減少や急速な少子高齢化社会への移行、未曾有な自然災害の発生、価値観の多様化した社会へと大きく変貌しておりますが、どんなに社会環境が変化しても変わることのないウィ・サーブ「われわれは奉仕する」の精神に基づき、ブラザークラブや同名クラブ、地域社会の皆様と連携・協調しながら愛ある奉仕活動を行っていきたいと思います。また、青少年を中心に大麻や危険ドラッグなどの薬物の乱用が深刻な問題となっている現代社会においては、私たちの結成当初からの強みである青少年の健全育成事業は、未来を担う子供たちのために今まで以上にその経験を生かすことが肝要と思われます。

我々は、青少年の健全育成を理念として先輩方がたどってきた道のりをしっかりと胸に刻み、経験豊かなベテラン会員と社会奉仕に燃える若手会員が一つに融和し、お互いに支え合いチームワークを発揮して、ウィ・サーブの原点に立ち返りクラブ一丸となって更なる未来への一歩を力強く踏み出す所存でございます。

会　長　L干場　輝明

干場会長より次期委員長のお話をいただいた際、当クラブの30周年の時にもPR委員長の立場で活動していたことを思い出しました。当時の自分のコメントを読み返してみると「来るべき35周年は、私たち若手が皆様の助言をいただきながら先頭に立って頑張れように努力する」とありました。



35周年の諸行事が終わり、実際はまだまだだったというのが感想です。周年記念行事に挑む2度目のPR委員長の活動としては、5年前よりは一連の流れが若干理解できていたお陰で右往左往はせずに済みましたが、先頭に立っての活動ができたかは疑問が残ります。

さて、記念式典祝賀会にお忙しい中、ご参加いただいた皆様から「リバティらしいね」と、たくさんのお声掛けをいただきました。リバティらしさについては会長のコメントにもありました「ベテラン会員と若手会員の融和」が皆様にも伝わったからではないかと思います。

多くの皆様に支えられ、諸先輩方に温かく見守られながら、CN 35周年にメンバーの一人として迎えられたことを心から感謝いたします。

PR委員長　L三浦　昌直

会員動向・アクティビティ活動状況

会員動向

		331-A 地区						
		1R	2R	3R	4R	5R	6R	合　計
期　首	LC数	14	16	9	12	15	8	74
	会員数	564	597	376	382	486	365	2,770
	内、家族会員数	135	147	53	52	80	34	501
9月末	LC数	14	15	9	12	15	8	73
	会員数	576	625	371	383	507	367	2,829
	内、家族会員数	137	149	51	54	87	32	510
10月末	LC数	14	15	9	12	15	8	73
	会員数	587	620	365	385	508	365	2,830
	内、家族会員数	145	148	51	54	87	31	516
期首～10月末 会員増減数		23	23	▲11	3	22	0	60

アクティビティ活動状況

	9月計		10月計		2015-16年度 累計	
金額アクティビティ	144件	15,887,951円	223件	18,555,189円	688件	53,058,654円
事業資金獲得	5件	1,009,502円	6件	2,119,156円	24件	9,546,759円
労力アクティビティ	125件	5380.5H	144件	4488.5 H	445件	18319.5 H
献血	106件	261,600cc	28件	288,800cc	146件	1,045,940cc
アイバンク登録者	0人		0人		35人	
角膜提供者	0人		0人		0人	
薬物乱用防止教室　開催件数	1件		2件		9件	
薬物乱用防止教室　動員数	82名		115名		1,204名	
使用済み切手	247,707枚		111,397枚		575,353枚	
書き損じ葉書	288枚		2,041枚		2,457枚	
使用済みプリカ	11枚		1,393枚		2,196枚	
例会、アクティビティ等の招待者数	231名		212名		706名	

LCIF拠金集計表

	9月計	10月計	2015-16年度累計
クラブ数	4	10	14
人　数	18人	20人	38人
金　額	18,000ドル	20,000ドル	38,000ドル

【9月分】

L 安部　尚明（札幌赤レンガ）　5回目
L 本間　知幸（札幌赤レンガ）　1回目
L 佐藤　昌洋（札幌赤レンガ）　2回目
L 浪越　一幸（札幌赤レンガ）　1回目
L 鶴嶋　浩二（札幌中島）　43回目
L 奥山　竜也（札幌中島）　6回目
L 島口　義弘（札幌もいわ）　2回目
L 西村　　智（札幌もいわ）　1回目
L 高野　倫行（札幌グリーン）　**52回目～61回目**

【10月分】

L 鶴嶋　浩二（札幌中島）　44回目
L 橋本　一将（札幌中島）　8回目
L 小玉　享幸（札幌中島）　8回目
L 新屋　雅良（札幌中島）　6回目
L 秋庭　一富（札幌エルム）　88回目
L 朝野　邦夫（札幌リバティ）　13回目
L 山村　　亮（札幌リバティ）　5回目
L 庵原　宏章（札幌東）　**44回目～48回目**
L 渡辺　　修（美唄）　28回目
L 小塚　弘昌（芦別）　2回目
L 東海林俊道（芦別）　1回目
L 鈴木　善一（千歳）　**8回目～10回目**
L 佐々木　亘（千歳）　2回目
L 伊藤　直人（千歳）　1回目

サッポロシニアライオンズクラブ



L 河野（こうの） 眞佐美（まさみ）

第一生命株式会社 保険営業

■〒007−0851
札幌市東区北51条東7丁目3−23
TEL（050）3782−0345
■生年月日　1955年7月3日

入会：2015年8月18日　スポンサー：L竹下　明美

札幌創成ライオンズクラブ



L 田中（たなか） 希幸（てるゆき）

丸亀三真建設株式会社
代表取締役

■〒062−0908
札幌市豊平区豊平8条10丁目
TEL（011）661−3400
■生年月日　1971年1月16日

入会：2015年10月1日　スポンサー：L持田　晴彦

札幌中央ライオンズクラブ



L 住本（すみもと） 邦裕（くにひろ）

北海道タツヲ電気株式会社
代表取締役

■〒060−0032
札幌市中央区北2条東10丁目15-1
TEL（011）241−1015
■生年月日　1952年1月15日

入会：2015年8月16日 スポンサー：L尾池　一仁

札幌創成ライオンズクラブ



L 塚本（つかもと） 晴久（はるひさ）

小寺・小松法律事務所　弁護士

■〒060−0042
札幌市中央区大通西10丁目
TEL（011）281−5011
■生年月日　1982年6月12日

入会：2015年10月1日　スポンサー：L小寺　正史

札幌中島ライオンズクラブ



L 中川（なかがわ） 紀仁（のりひと）

(株) Home Agent
代表取締役

■〒064−0807
札幌市中央区南7条西3丁目7番11 LC弐番館6階
TEL（011）596−8539
■生年月日　1977年3月1日

入会：2015年8月4日　スポンサー：L鶴嶋　浩二

サッポロシニアライオンズクラブ



L 高橋（たかはし） 良明（よしあき）

石狩市立南線小学校
エキスパートサポート

■〒061−3203
石狩市花川南3条1丁目20
TEL（0133）73−2042
■生年月日　1951年4月18日

入会：2015年8月18日 スポンサー：L合田 由美子

札幌中島ライオンズクラブ



L 中村（なかむら） 将徳（まさのり）

エヌ・ビル (株) 専務取締役

■〒064−0806
札幌市中央区南6条西3丁目10番地1
TEL（011）511−3488
■生年月日　1981年5月8日

入会：2015年8月4日　スポンサー：L鶴嶋　浩二

サッポロシニアライオンズクラブ



L 増子（ますこ） 卓朗（たくろう）

札幌白石記念病院　企画課長

■〒003−0026
札幌市白石区本通8丁目南1−10
TEL（011）863−5151
■生年月日　1963年8月20日

入会：2015年8月18日 スポンサー：L鶴谷　紀子

札幌中島ライオンズクラブ



L 千田（ちだ） 涼介（りょうすけ）

(株) F. A. O　代表取締役社長

■〒001−0035
札幌市北区北35条西3丁目3-23　日宝ノール北35条105
TEL（011）214−0677
■生年月日　1984年1月13日

入会：2015年9月1日　スポンサー：L新屋　雅良

サッポロシニアライオンズクラブ



L 奈良（なら） 郁子（いくこ）

第一生命保険株式会社 営業

■〒007−0851
札幌市東区北51条東7丁目3−23
TEL（050）3782−0344
■生年月日　1965年11月23日

入会：2015年8月18日 スポンサー：L竹下　明美

札幌パイオニアライオンズクラブ

L 迫田（さこた） 一秀（かずひで）



あいおいニッセイ同和損害保険
株式会社

■〒060－8553
札幌市北区北7条西5丁目5－3　札幌千代田ビル10F
TEL（011）728－1671
■生年月日　1971年2月18日

入会：2015年9月7日　スポンサー：L美田　法賢

札幌中島ライオンズクラブ

L 服部（はっとり） 昌平（しょうへい）



（株）エイビッサ 代表取締役

■〒064-0805
札幌市中央区南5条西1丁目ヒカリビル4F
TEL（011）208－7730
■生年月日　1977年6月7日

入会：2015年9月1日　スポンサー：L新屋　雅良

札幌パイオニアライオンズクラブ

L 前田（まえだ） 康人（やすひと）



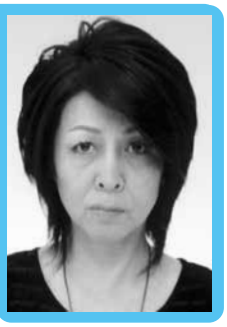
（株）アディッシュ・エージェント
代表取締役

■〒060－0033
札幌市中央区北3条東5丁目5　岩佐ビル3F
TEL（011）272－5115
■生年月日　1974年5月2日

入会：2015年9月7日 スポンサー：L美田　法賢

札幌まるやまライオンズクラブ

L 鈴木（すずき） 由美子（ゆみこ）



ラウンジ しおん　経営者

■〒064-0805
札幌市中央区南5条西5丁目 ジャパンランドビル5F
TEL（011）518－5565
■生年月日　1962年9月4日

入会：2015年9月17日　スポンサー：L赤松　幸一

札幌パイオニアライオンズクラブ

L 山口（やまぐち） 孝治（こうじ）



渡辺パイプ（株）　所長

■〒003－0030
札幌市白石区流通センター6－2－5
TEL（011）801－1341
■生年月日　1968年11月15日

入会：2015年9月7日　スポンサー：L美田　法賢

札幌南ライオンズクラブ

L 長谷川（はせがわ） 亮平（りょうへい）



株式会社長谷川工業
代表取締役

■〒062－0001
札幌市豊平区美園1条5丁目2－1
TEL（011）832－5119
■生年月日　1974年2月26日

入会：2015年9月1日　スポンサー：L石川　孝

札幌パイオニアライオンズクラブ

L 五十嵐（いがらし） 伸治（しんじ）



（株）アイシステム　常務取締役

■〒003－0839
札幌市白石区北郷9条9丁目3
TEL（011）875－1154
■生年月日　1962年3月1日

入会：2015年9月7日　スポンサー：L美田　法賢

札幌北の杜ライオンズクラブ

L 宮本（みやもと） 光生（みつお）



有限会社 グローブ　代表取締役

■〒062－0032
札幌市豊平区西岡2条12丁目1-3
TEL（011）588－8000
■生年月日　1967年11月21日

入会：2015年8月1日 スポンサー：L佐々木　正行

札幌パイオニアライオンズクラブ

L 河瀬（かわせ） 洋一（よういち）



東洋ガラス工業（株）
代表取締役

■〒061－3244
石狩市新港南2丁目721－1
TEL（0133）64－1040
■生年月日　1943年9月14日

入会：2015年9月7日　スポンサー：L美田　法賢

札幌パイオニアライオンズクラブ

L 菊地（きくち） 慎一（しんいち）



桜花司法書士総合事務所
代表

■〒004－0051
札幌市厚別区厚別中央1条2丁目13-20　ライオンビル2F
TEL（011）890－5000
■生年月日　1976年8月31日

入会：2015年9月7日 スポンサー：L実田　法賢

岩見沢グリーンライオンズクラブ



L 桑村（くわむら） 寿（ひさし）

（株）ソウシン　代表取締役

■〒０６８－０００３
岩見沢市3条東18丁目34－5
ＴＥＬ（０１２６）２２－１７０２
■生年月日　1959年9月18日

入会：2015年8月20日　スポンサー：L道下　智義

札幌パイオニアライオンズクラブ



L 増田（ますだ） 尚照（ひさてる）

（株）LIXILトータル販売
札幌支店　支店長

■〒００７－０８３７
札幌市東区北37条東28丁目５－１０
ＴＥＬ（０１１）７８８－１７５５
■生年月日　1966年12月14日

入会：2015年9月17日　スポンサー：L美田　法賢

岩見沢グリーンライオンズクラブ



L 柴田（しばた） 薫（かおる）

れんが通り　店主

■〒０６８－００２２
岩見沢市2条西1丁目２－5 セブンビル1F
ＴＥＬ（０１２６）２５－２１５５
■生年月日　1940年5月15日

入会：2015年8月20日 スポンサー：L川口　隆英

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ



L 河西（かわにし） 弘謙（こうけん）

（株）ネクスト住宅販売
代表取締役

■〒007-0839
札幌市東区北３９条東１丁目１－１７
ＴＥＬ（０１１）７４１－１０６８
■生年月日　1976年11月4日

入会：2015年10月1日　スポンサー：L山田　稔

滝川ライオンズクラブ



L 松浦（まつうら） 聖一（せいいち）

北門信用金庫 本店
本店長

■〒０７３－００２１
滝川市本町１丁目２－５
ＴＥＬ（０１２５）２２－１１１１
■生年月日　1960年3月15日

入会：2015年9月8日　スポンサー：L小林　政志

札幌ライラックライオンズクラブ



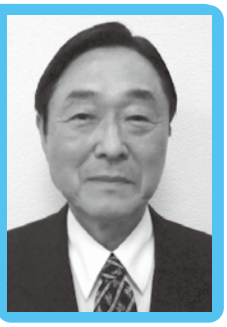
L 坂口（さかぐち） 徹（とおる）

弁護士法人
成蹊総合法律事務所 弁護士

■〒０６０－０００５
札幌市中央区北5条西12丁目2番地　ベルックス北5ビルB館4階
ＴＥＬ（０１１）２４２－３６３６
■生年月日　1985年10月25日

入会：2015年8月1日 スポンサー：L市川　俊明

当別ライオンズクラブ



L 山崎（やまざき） 公司（こうじ）

（株）ロイズコンフェクト　顧問

■〒０６１－３７７５
石狩郡当別町ビトエ640－15
ＴＥＬ（０１３３）２７－５９３３
■生年月日　1946年6月29日

入会：2015年9月1日　スポンサー：L後藤　正洋

札幌はまなすライオンズクラブ



L 服部（はっとり） 正明（まさあき）

東海大学国際文化学部
主任教授

■〒005－8061
札幌市南区南沢5条1丁目1－1
ＴＥＬ（０１１）５７１－５１１１
■生年月日　1959年3月9日

入会：2015年9月15日 スポンサー：L水野　眞佐夫

当別ライオンズクラブ



L 浅野（あさの） 政輝（まさき）

㈲浅野農場　代表取締役

■〒０６１－０２０７
石狩郡当別町上当別2190番地
ＴＥＬ（０１３３）２６－２２０１
■生年月日　1974年1月23日

入会：2015年9月1日　スポンサー：L山田　明

札幌はまなすライオンズクラブ



L 山崎（やまざき） 健司（けんじ）

株式会社つうけんエンジニアリング部
システム担当　派遣社員

■〒003－0026
札幌市白石区本通19丁目南6番8号
ＴＥＬ（０１１）８６０－１１９７
■生年月日　1949年7月5日

入会：2015年9月15日 スポンサー：L山崎　晴生

訃　報

心よりご冥福をお祈り申し上げます



札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

L志和（しわ）　賢一（けんいち）

ライオン歴

２００６年１１月　　入会
２００８～２００９年　テール・ツイスター

2015年10月8日　享年72歳

人々に、自然や文化と共生する
豊かなライフスタイルを。

SAPPORO PARK HOTEL
by GRANVISTA
札幌パークホテル
〒064-8589 北海道札幌市中央区南10条西3丁目
Tel:011-511-3131　Fax:011-531-8522　http://www.park1964.com



〈札幌アカシヤライオンズクラブ広告〉



華やかにお客様をお迎えし
最高のおもてなしをする
パーティーコンパニオン

pixy

各種イベント・パーティのトータルプロデュース
ピクシー事業部

株式会社ヒューマンリソーシズエージェンシー
〒060-0061
札幌市中央区南1条西4丁目13番地日之出ビル7階
tel 011-231-3112　fax 011-271-5557
E-mail:pixy@hra.co.jp　URL:http://www.hra.co.jp

〈札幌中央ライオンズクラブ広告〉



東京ドームホテル 札幌

16 charm
— ここにしかない16(ドーム)の魅力 —

〒060-0042
札幌市中央区大通8丁目
TEL 011-261-0111(代表)

詳しくはHPをご覧ください
http://www.tokyodome-hotels-sapporo.com/

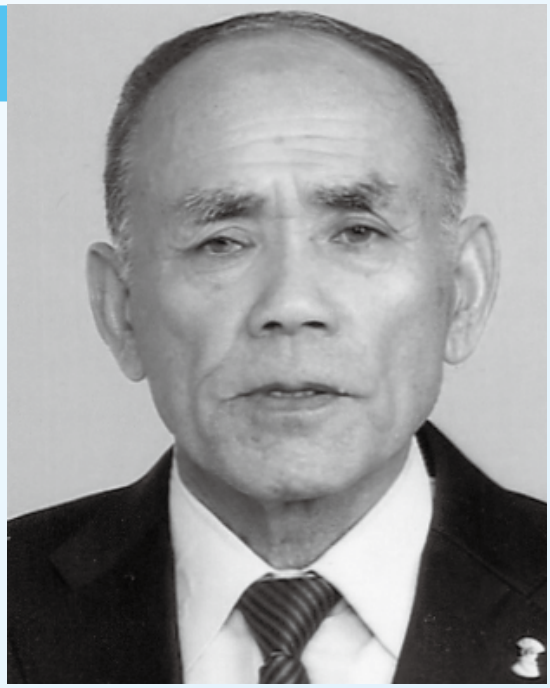
〈札幌中央ライオンズクラブ広告〉

CONTENTS

■第２回キャビネット会議……01
■山田国際会長 公式訪問……02
■連載企画　「明日のライオン像を語る」③……04
■委員会報告
　薬物乱用防止委員会……07
■100 周年記念事業 チャリティゴルフ大会……08
■若手・女性セミナー開催……10
■第２回 アラートフォーラム……12
■障がい者雇用促進のための講演会……13
■献血推進セミナー……14
■リジョン特集
　2R1Z……16
　2R2Z……22
　6R1Z……30
　6R2Z……34
■クラブ報告
　札幌ライオンズクラブ……38
■周年行事報告
　札幌リバティライオンズクラブ……40
■会員動向・アクティビティ活動状況……41
■新入会員の紹介……42

「ウィ・サーブ」
さらなるご支援・ご協力を
お願い申し上げます。

第一副地区ガバナー



岩見沢中央ライオンズクラブ

L 柏崎　昭朗

PROFILE

所属クラブ
岩見沢中央ライオンズクラブ
〒068-0024
岩見沢市４条西１丁目２－５
ＭＹ岩見沢ビル３Ｆ
TEL(0126)35-1393　FAX(0126)35-1394

勤務先
柏崎建設株式会社　代表取締役社長
〒068-0031
岩見沢市11条西1丁目2番地
TEL0126-23-2129　FAX0126-22-5460



第二副地区ガバナー

札幌トラストライオンズクラブ

L 能澤　正明

PROFILE

所属クラブ
札幌トラストライオンズクラブ
〒060-0063
札幌市中央区南３条西３丁目
アルファ南３条ビル４階
TEL(011)211-6156　FAX(011)211-6157

勤務先
有限会社能澤理容美容院　代表取締役会長
〒065-0012
札幌市東区北12条東1丁目1-22
TEL(011)711-6271　FAX(011)711-6288

アサヒビール北海道工場隣接ならではのうまい！スーパードライが自慢です！！

宴会プラン　ご予約受付中

ジンギスカン・焼肉・しゃぶしゃぶ
はまなす館



1-2階で1,000名を誇る白石最大のビアホール。30名～個室も完備！！

焼肉・寿司・デリカ/ビュッフェレストラン
ロイン亭白石店



旬の素材を使用した、こだわりのバイキング！楽しくて美味しい！！

Lamb&Grill・オードブルパーティー
ピルゼン



ビールに合うものなんでもござれ
焼肉・しゃぶしゃぶ、ジンギスカン
おつまみ類も充実。個室もあり！！

様々な用途で、ご利用いただけます。

◆会議、会食プラン
総会、安全大会、表彰式などにも
◆ボウリングパック
◆バスパックプラン
◆ジンギスカン
焼肉食べ飲み放題
オードブル宴会・お弁当等
◆ご予算に応じて、
歓送迎会、
忘新年会など各種ご相談下さい。

各店のパーティプランの詳細は総合案内へご確認下さい。

アサヒビール園　白石店

札幌市白石区南郷通４丁目南 1-1　お問い合わせは▶総合案内 (011)863-5251

〈札幌白石ライオンズクラブ広告〉

相続と資産形成についてのご相談下さい

不動産の企画・設計・立案から施工管理・資産運用まで
トータルにご提案いたします



札幌パイオニアライオンズクラブ所属　上美田一法賢

M's INDUSTRY CO.,LTD.
エムズ・インダストリー株式会社

☎011-733-6404 FAX 011-733-6403
Email : info@msindustry-jp.com　HP : http://www.msindustry-jp.com/
〒007-0834 札幌市東区北34条東5丁目3-16　Mビル2階

〈札幌パイオニアライオンズクラブ広告〉

雪でお困りの方はYSEにお任せ下さい!

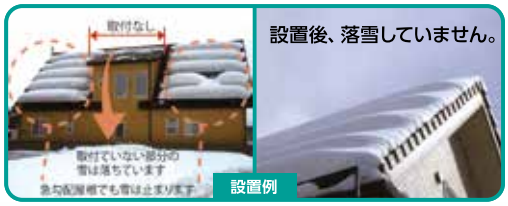
今なら早期特価お見積り無料

落雪のお悩みを解消します!

屋根からの落雪はこれで解決!

スーパーリング®

特許登録（特許 第3517658号）（特許 第3606320号）意匠登録（意匠 第2003.036606号）商標登録（登録 第4591585号）





スーパーリングは雪止め製品です。

スガモレ、ツララ防止につきましては気象条件等により異なります。

危険な雪庇を防ぐ!

こうなる前に!

防雪ネット（金網）

その成果をお確かめください!



お問い合せはこちら

YSE INC

株式会社 YSE 011-633-1101

YSE 検索

ホームページ http://www.y-s-e.com

〈札幌創成ライオンズクラブ広告〉



〈札幌エルムライオンズクラブ広告〉

エコー誌11月号　通算五二二号　二〇一五年（平成二十七年）十一月十五日発行　発行所　ライオンズクラブ国際協会三三一－A地区　地区PR・ライオンズ情報委員会　〒〇六〇－〇八〇九　札幌市北区九条西二丁目十番　小田ビル五階　Tel（〇一一）七五八－八八八一　印刷　協和印刷株式会社

